

# 平成 30 年度事業報告（案）

## 1 事業報告

本連盟は、昭和 58 年（1983 年度）以来、ソフトテニスの一層の普及振興を図るため、将来像の基本となる方向性を示す長期基本計画（5 年）を策定し、その方針に沿って総合的かつ計画的に事業推進に取り組んできた。

平成 30 年度においても、公益財団法人としての高い社会的信用を維持するべく、ソフトテニスの普及振興、国民の心身の健全な発展への寄与を目的とし、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」に係わる事業を積極的かつ効果的に実施した。

### I. ソフトテニスの普及振興事業

#### 1. ソフトテニス競技規則等の制定事業

- (1) ソフトテニス競技の振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるよう、必要に応じてハンドブックの見直しについて検討を重ねた。今後も更に検討を重ね、ソフトテニスハンドブック（競技規則、審判規則、大会運営規則）やジュニア審判マニュアルに反映を図ることとした。
- (2) テニスコート基準の改訂を検討し、ASTF 会議に提案した。
- (3) ASTF におけるリーダー国として、英語版審判技術マニュアル（DVD）等を活用して国際競技規則の国際普及の推進を図った。

#### 2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
  - ①平成 30 年度各大会実施要項に基づき、各種大会を実施した。  
(別表 P54～57)
  - ②国民体育大会種別参加チーム数のローテーションにより種別参加チーム数の改訂を行った。
  - ③大会要項の改定
    - ア. 全日本シングルス選手権大会の参加数を改定した。
    - イ. 全日本社会人選手権大会および全日本シニア選手権大会の種別を変更した。
- (2) 大会の検討と大会運営の改善
  - ①第 18 回アジア競技大会日本代表選手予選会をシングルス種別で実施した。
  - ②全日本シングルス選手権大会  
参加資格として前年度全日本選手権大会ベスト 8 を追加して実施した。
  - ③全日本社会人選手権大会及び全日本シニア選手権大会の種別の変更
    - ア. 全日本シニア選手権大会のダブルス男子・女子ともに 45 歳以上を全日本社会人選手権大会に移行した。全日本社会人選手権大会は「ダブルス一般男子・一般女子」「ダブルス 35 歳以上男子・35 歳以上女子」「ダブルス 45 歳以上男子・45 歳以上女子」の 6 種別で実施した。
    - イ. 全日本社会人選手権大会に 45 歳以上の種別が移行したことにより、全日本シニア選手権大会においてミックスダブルス 45 歳以上は開催しなかった。
  - ④新規全日本大会の検討
    - ・全日本団体選手権大会の開催に向けて検討をしてきたが、会場や日程の問題などを鑑み、今後の検討を中止とした。

・全日本ミックスダブルス選手権大会は実施する方向で継続して検討した。

⑤日本スポーツマスターズ大会

北海道胆振東部地震の影響により中止となった。

⑥大会参加申込のシステム化

主催大会の参加申込システム活用により、参加資格のチェック等による事務負担軽減と参加申込の効率化を図った。併せて加盟団体大会申込についても本システム活用を推進し、加盟団体の事務負担軽減と効率化を図った。

⑦主催大会開催

主催大会を主管し、運営する開催地との連携を深め、主要事業である大会が円滑に運営されるようにした。

⑧ゼッケンの着用

日本連盟主催大会において、統一ゼッケン(3段)の着用を継続実施し、四隅で留めることを徹底した。

⑨簡易得点板の設置

日本連盟主催大会において簡易得点板の利用を実施した。

⑩大会審判のワッペン着用の義務化

大会時に審判を行う際にワッペンを左胸に着用させ、審判員の意識向上を図った。

⑪ユニフォーム等の着用基準

利用者のニーズと合致した基準に改訂するとともに、Q&Aを作成し、改訂内容のわかりやすい説明と運用に努めた。

⑫個人戦の組み合わせの事前公開

これまで当日公開であった個人戦の組み合わせについて、事前公開を実施した。対象大会は、天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本シングルス選手権大会とした。2019年度より日本連盟主催の全ての大会において事前公開を実施することとした。

⑬ペアのユニフォーム統一

ダブルス時のペアのユニフォームを統一し、かつ対戦相手と異なるカラーを着用するよう奨励した。

⑭試合経過の配信

広報推進の観点から、試合経過をホームページで速報配信した。

⑮日本連盟主催大会のあり方について

開催地の負担を軽減する方法について検討した。

⑯選手変更方法について

個人戦および団体戦における選手変更方法を見直し、2019年度大会より実施することとした。

⑰日本スポーツ振興センターの助成事業として以下の大会を実施した。

ア. JOC ジュニアオリンピックカップ大会／全日本ジュニア選手権大会	助成金 1,333,000 円
イ. 天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会	助成金 2,801,000 円

### 3. 地域ソフトテニス大会支援

(1) 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行った。

① 全日本大学選手権大会	1,000,000 円
② 全日本高校選手権大会	1,000,000 円
③ 全国中学校大会	697,630 円
④ 東日本選手権大会	500,000 円
⑤ 西日本選手権大会	500,000 円
⑥ 全日本学生インドア大会	500,000 円
⑦ 全日本学生王座決定戦	500,000 円
⑧ 全日本レディース大会（個人戦）	500,000 円
⑨ 全日本レディース決勝大会	500,000 円
⑩ ハイスクールジャパンカップ	300,000 円
⑪ 9 地区選手権大会	9 地区× 200,000 円
⑫ 地区高校選抜大会	9 地区× 100,000 円
⑬ 地区中学選手権大会	9 地区× 100,000 円
⑭ 全日本シニア東西対抗大会	400,000 円
⑮ 全日本学生同好会大会	200,000 円

#### 4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援

(1) 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。

①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成

・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、都道府県の加盟団体に対し会員登録料から下記の率により助成した。

(一般 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%)

②支部中学校大会への補助

46 都道府県×@30,000 円を助成した。

③支部小学生大会への補助

46 都道府県×@30,000 円を助成した。

④ソフトテニス週間の実施

ソフトテニス週間事業については、46 都道府県において実施され、実施都道府県に 100,000 円を助成した。

10月の体育の日を中心とした日程で大会や記念イベントがおこなわれ、世代を超えた交流が図られた

⑤ソフトテニス愛好者増加対策

・ソフトテニス愛好者増加対策について、全47都道府県において実施され、全都道府県に 150,000 円を助成した。

⑥指導者バンク（地域）の活用促進

・地域の有資格指導者の競技者育成プログラム(Step-1、2)への関わり方および指導者の活用方法を検討した。

⑦傷害補償制度の徹底

・評議員会や各種会議、ホームページ等で制度を広く伝え制度活用の推進を図るとともに、

受傷者に対し給付金の支払いを実施した。

## 5. ソフトテニスの広報活動

### (1) メディア対策

- ・大会等のイベント実施事前の資料提供を積極的に行った。
- ・メディア対応マニュアルの作成については現在作成継続中であり、加盟団体に提供できるように準備している。
- ・平成 13 年より継続している全日本選手権大会のテレビ放送を 18 年連続実施した。
- ・アジア競技大会の代表選手の記者発表を実施した

### (2) ホームページの運営

より見やすく、内容がよりわかりやすくするためのホームページの改訂を行った。

- ・各主催大会において試合結果(途中経過も含む)や記録・写真・動画の速報配信を行った。
- ・日本連盟 TV 及び各加盟団体 TV の映像を通じて積極的な動画配信の広報活動を実施した。
- ・ホームページのスマートフォン対応を図り、より親しみやすい画面に刷新した。

### (3) 広報誌発行

#### ①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- ・内容充実を図り、多くの皆さんに親しんでもらえるように作成した。

購読者数	支部購読	1,259 名	個人購読	172 名
(平成 29 年度)	支部購読	1,197 名	個人購読	197 名

- ・加盟団体からのニュース等の掲載を円滑にするため、原稿提供方法とデータ形式について周知徹底した。

#### ②会員報を年 2 回発行した。

#### ③平成 30 年大会記録集を作成し、加盟団体や報道機関等へ配布した。

### (4) 「ソフトテニスの歌」の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と、加盟団体主催事業での活用依頼を行った。
- ・ソフトテニスの歌「ウイニングショット」、ソフトテニス応援歌「青空背負って」の活用を呼びかけた。

### (5) ソフトテニスのアピールと周知

#### ①ソフトテニスの映画「案山子とラケット」の DVD および BD の周知を行った。

#### ②ロゴマークおよびマスコットキャラクター「そふていー」の活用

- ・小学生の大会およびその他の大会、また加盟団体主催のイベント等においても積極的に「そふていー」を登場させ、ソフトテニスを広くアピールした。
- ・ロゴマークの PR をして印刷物等で活用した。

#### ③SNS を活用した広報活動の推進について検討した。

### (6) 全国広報担当者実務研修会の開催

期 日 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 13 時

会 場 アワーズイン阪急会議室

参加数 日本連盟 7 名、各加盟団体からの参加者 43 名

- 内 容 ①平成 30 年度広報活動について
- ・各大会における事前広報およびメディア対応について
  - ・全日本選手権大会における広報活動について
  - ・オンデマンド放送について
  - ・ホームページ運営について
  - ・機関誌発行について
- ②都道府県連盟における広報活動実務について
- ③大会結果速報のための動画・静止画撮影留意事項

## 6. ソフトテニスの表彰・顕彰

平成 30 年 12 月 1 日（土）に、京都タワーホテルにおいて平成 30 年度の表彰式を実施した。

本部功労者を代表して野際照章氏（京都府）、支部功労者を代表し、福井県支部功労者の代理として川畑茂評議員、優良団体の中からワタキューセイモアを代表して牧野伸一氏、最優秀選手およびランキング選手を代表して船水颯人選手（早稲田大学）および林田リコ選手（東京女子体育大学）に賞状等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

### （1）国際大会入賞者表彰（敬称略）

第 18 回アジア競技大会

団長：北本英幸

#### ①国別対抗 日本女子チーム 優勝

監督：斉藤広宣 コーチ：高川経生 トレーナー：川上晃司

選手：林田リコ 半谷美咲 高橋乃綾 尾上胡桃 黒木瑠璃華

#### 日本男子チーム 準優勝

監督：中堀成生 コーチ：川村達郎 トレーナー：田中京介

選手：船水颯人 上松俊貴 丸中大明 長江光一 増田健人

#### ②女子シングルス 優勝：高橋乃綾

#### ③ミックスダブルス 第 3 位：林田リコ・上松俊貴ペア

### （2）国内関係表彰

1 本部功労者	3 名
2 支部功労賞	90 名
3 優良団体	45 団体
4 最優秀監督および優秀監督	16 名
5 最優秀選手および優秀選手、敢闘選手	12 名
6 ランキング	504 名
7 日本スポーツ賞	1 チーム
8 JOC ジュニアオリンピックカップ	2 名

(3) 表彰者名簿 (敬称略)

1. 本部功労者 野際 照章 (日本連盟専務理事)  
神崎 公宏 (日本連盟理事)  
北本 英幸 (日本連盟理事)
2. 支部功労者 別紙参照
3. 優良団体 別紙参照
4. 優秀監督
  - 最優秀監督 実業団 男子 堀 晃大 (NTT西日本)  
女子 松口 友也 (ヨネックス)  
大 学 男子 櫻井 智明 (明治大学)  
女子 武田 博子 (東京女子体育大学)  
高 校 男子 紙森 隆弘 (高田商業高校)  
女子 江口 直樹 (昇陽高校)  
中 学 男子 高橋 茂 (清明学園中学校)  
女子 後藤 明弘 (山陽女子中学校)
  - 優秀監督 実業団 男子 中村 謙 (ヨネックス)  
女子 百町 善明 (ワタキューセイモア)  
大 学 男子 小野寺 剛 (早稲田大学)  
女子 篠原 秀典 (日本体育大学)  
高 校 男子 白幡 光 (羽黒高校)  
女子 村田真紀乃 (三重高校)  
中 学 男子 小牧 幸二 (上宮中学校)  
女子 高原 良江 (昭和学院中学校)
5. 優秀選手
  - 最優秀選手 男 子 船水颯人 (早稲田大学)・上松俊貴 (早稲田大学)  
女 子 林田リコ (東京女子体育大学)・宮下こころ (明治大学)
  - 優秀選手 男 子 安藤優作 (早稲田大学)・内田理久 (早稲田大学)  
女 子 志牟田智美 (東芝姫路)・泉谷朋香 (東芝姫路)
  - 敢闘選手 男 子 中本圭哉 (福井県庁)・鈴木琢巳 (福井県庁)  
女 子 中川瑞貴 (ナガセケンコー)・芝崎百香 (ナガセケンコー)
6. ランキング選手 別紙参照
7. 国際大会入賞者 別紙参照
8. 日本スポーツ賞 第18回アジア競技大会女子代表チーム
9. JOC ジュニアオリンピックカップ
  - 最優秀選手 男子：上松俊貴 (早稲田大学)  
女子：林田リコ (東京女子体育大学)

# 平成30年度 支部功労者・優良団体

(敬称略)

	支部名	支部功労者	支部功労者	優良団体
1	北海道	更科 功	糸地 正	名寄ソフトテニス連盟
2	青森	風穴 武寿	和田 秀哉	東北町ソフトテニス協会
3	岩手	日野 正康	五十嵐 敏幸	花巻市ソフトテニス協会
4	宮城	伊藤 秋則	菅原 信行	東北大学OBクラブ
5	秋田	福田 浩	三浦 智文	森吉中学校ソフトテニス部
6	山形	内山 晴道	佐藤 研治	新庄地区ソフトテニス連盟
7	福島	佐藤 和之	江尻 久三	西郷村立西郷第一中学校
8	茨城	豊田 富美子	蛭田 千代	高萩クラブ
9	栃木	長井 周彦	海老沼 伸夫	大田原クラブ
10	群馬	小見 孝夫	大塚 恵美子	あかぼりJST
11	埼玉	小杉 誠	松波 均	鳩ヶ谷クラブ
12	千葉	堀越 浩	佐瀬 博	佐倉クラブ
13	東京	源平 英樹	小八木 利実	日野自動車
14	神奈川	中村 勝	福室 祐子	せせらぎクラブ
15	山梨	島田 基樹	藤本 克巳	甲斐市立敷島中学校ソフトテニス部
16	新潟	兼田 忠啓	渡辺 耕二	新潟トキめきクラブ
17	長野	寺島 英雄		サービスエース飯島
18	富山	高林 外広	村上 義和	富山ソフトテニスクラブ
19	石川	東 晴信	架間 洋子	
20	福井	北川 俊幸	松浦 佐太雄	武生高等学校女子ソフトテニス部
21	静岡	小林 正	菊池 孝典	大東クラブ
22	愛知	日比野 義和	石原 達也	大同大学大同高等学校
23	三重	板羽 正則		
24	岐阜	神谷 俊行	横山 元茂	関クラブ
25	滋賀	木口 博文	中村 雅幸	滋賀21クラブ
26	京都	森中 松雄	村上 容子	ワタキューセイモア株式会社ソフトテニス部
27	大阪	北野 一彦	成田 扶美代	箕面クラブ
28	兵庫	住友 康江	國司 直樹	神戸税関
29	奈良	新子 雅央	吉川 精二	高円クラブ
30	和歌山	渡海 聡	瀨上 信行	ソフトテニスあおぞらクラブ
31	鳥取	近藤 一樹	砂口 賢	ハワイクラブ
32	島根			大田市立第一中学校ソフトテニス部
33	岡山	津島 敏文	森 博史	三石スポーツ少年団
34	広島			どんがめクラブ
35	山口	村重 光範	米満 寛之	永源ソフトテニスクラブ
36	徳島	櫛田 雅弘	渡辺 須摩子	阿波ソフトテニスクラブ
37	香川	田万 豊廣		香川高専詫間キャンパス
38	愛媛	田坂 信一	辻 喜千治	愛媛小学生ソフトテニス連盟
39	高知	有友 昭一	瀬戸 隆弘	四電クラブ
40	福岡			
41	佐賀	神近 正	田川 恵美	嬉野市ソフトテニス協会
42	長崎	吉武 俊雄	平 智和	
43	熊本	中本 セイ子	本嶋 芙美子	わいわいG熊本
44	大分	江利角 富美子	安達 伸子	まいづる鶴翔会
45	宮崎	中武 稔	太田 知英子	延岡市立東海中学校男子ソフトテニス部
46	鹿児島	福留 明人	米山 千草	薩摩川内市ソフトテニス連盟
47	沖縄	松本 健	長堂 弘	嘉手納軟式庭球クラブ
48	日本学連	吉岡 健一	川崎 哲郎	早稲田大学
49	高体連	早川 真司	小山 恵	高崎健康福祉大学高崎高等学校女子ソフトテニス部
50	中体連	林 昭文		
合計		90名		45団体

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

総 合 男 子				総 合 女 子			
1	船水 颯人 上松 俊貴	日本学連	早稲田大学	1	林田 リコ 宮下 こころ	日本学連	東京女子体育大学 明治大学
2	安藤 優作 内田 理久	日本学連	早稲田大学	2	志牟田 智美 泉谷 朋香	兵庫	東芝姫路
3	中本 圭哉 鈴木 琢巳	福井	福井県庁	3	中川 瑞貴 芝崎 百香	東京	ナガセケンコー
4	丸中 大明 長江 光一	広島	N T T 西 日 本	4	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
5	林田 和樹 柴田 章平	東京	ヨネックス	5	徳川 愛実 草野 絵美菜	東京 群馬	ヨネックス P a l a i s t r a
6	船水 雄太 水澤 悠太	広島	N T T 西 日 本	5	森田 奈緒 黒木 瑠璃華	東京	ヨネックス
7	村上 雄人 林 大喜	広島	N T T 西 日 本	7	木谷 優美 高杉 梨奈	福井	福井STクラブ
7	増田 健人 九島 一馬	和歌山 大阪	和歌山県庁 ミズノ	8	高橋 乃綾 半谷 美咲	広島	どんぐり北広島
9	村田 匠 広岡 宙	広島	N T T 西 日 本	9	植田 幸寿保 石井 友梨	京都	ワタキューセイモア
10	西川 智 中原 寛海	広島	マツダ	9	塚川 優女 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学



# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

社 会 人 男 子				社 会 人 女 子			
1	丸 中 大 明 長 江 光 一	広島	N T T 西 日 本	1	中 川 瑞 貴 芝 崎 百 香	東京	ナガセケンコー
2	西 川 智 中 原 寛 海	広島	マ ッ ダ	2	木 谷 優 美 高 杉 梨 奈	福井	福 井 S T ク ラ ブ
3	林 田 和 樹 柴 田 章 平	東京	ヨ ネ ッ ク ス	3	高 橋 乃 綾 半 谷 美 咲	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
3	船 水 雄 太 水 澤 悠 太	広島	N T T 西 日 本	3	岡 本 愛 佳 大 槻 麗	東京 福島	八 王 子 庭 球 ク ラ ブ ダ ン ロ ッ プ
5	塩 寄 弘 騎 花 田 周 弥	和歌山	和 歌 山 県 庁	5	三 隅 は す は 富 田 真 愛	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
5	白 井 拓 巳 堂 野 貴 寛	埼玉	ア キ ム	5	徳 川 愛 実 草 野 絵 美 菜	東京 群馬	ヨ ネ ッ ク ス P a l a i s t r a
5	村 上 雄 人 林 大 喜	広島	N T T 西 日 本	5	森 田 奈 緒 黒 木 瑠 璃 華	東京	ヨ ネ ッ ク ス
5	中 本 圭 哉 鈴 木 琢 巳	福井	福 井 県 庁	5	那 須 暁 帆 小 林 優 美	愛知	ア ド マ テ ッ ク ス

男 子 3 5			女 子 3 5				
1	角 谷 祐 輔 足 利 剛 平	岡山	岡 山 市 役 所 ク ラ レ 岡 山	1	伊 佐 久 美 子 矢 崎 美 穂	東京	杉 並 文 化 ク ラ ブ
2	佐 藤 勲 中 野 淳	新潟	新 潟 ト キ メ キ ク ラ ブ	2	松 井 あ か ね 吉 崎 香 奈 絵	京都	B - J O K E R
3	中 澤 厚 雄 柳 田 真 吾	北海道 埼玉	函 館 ク ラ ブ 川 口 I S C	3	藤 岡 友 子 神 保 綾	埼玉	岩 槻 す み れ 川 口 ク ラ ブ
3	三 木 英 治 香 川 大 輔	神奈川	せ せ ら ぎ ク ラ ブ 厚 木 市 役 所	3	沼 智 恵 加 藤 美 雪	千葉	千 葉 ク ラ ブ 小 金 原 ク ラ ブ

男 子 4 5			女 子 4 5				
1	片 峯 俊 和 篠 原 和 彦	福岡	T O T O	1	五 十 嵐 美 智 恵 米 沢 優 美 子	新潟 石川	燕 ク ラ ブ ふ た ば ク ラ ブ
2	宇 佐 美 潤 原 良 人	静岡	ベ ル ウ ッ ド 明 電 舎	2	太 田 郁 子 芦 部 美 奈 子	長野	飯 田 S T A
3	濱 田 英 明 金 倉 正 三	東京	練 馬 ソ フ ト 東 村 山 ソ フ ト	3	櫻 井 佳 子 松 嶋 晴 美	愛知	豊 田 ク ラ ブ
3	北 野 敏 明 豊 田 雅 孝	大阪 愛知	堺 連 盟 東 邦 ガ ス	3	岡 夕 香 鈴 木 節 子	岡山 東京	ク ラ レ 岡 山 日 亜 化 学 工 業

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シ ニ ア 男 子 5 0				シ ニ ア 女 子 5 0			
1	中 武 稔 平 山 勉	宮崎	宮崎クラブ 都城市役所	1	東 純 子 宮崎 由佳子	兵庫 大阪	今津クラブ R I S E
2	梅 根 裕 一 相 模 崇 典	北海道 東京	札幌学院クラブ 睦 ク ラ ブ	2	山 田 美 鈴 中 牟 田 千 恵	岡山 福岡	玉 島 S T C 福 大 ク ラ ブ
3	塘 内 正 美 米 村 真 也	熊本	菊池郡市協会	3	高 木 ひ と み 野 口 真 美 子	愛知	豊 田 ク ラ ブ
3	菊 池 清 彦 福 山 貴 男	埼玉	深谷クラブ	3	村 岡 恵 子 佐 野 る り 子	東京	杉並文化クラブ

シ ニ ア 男 子 5 5				シ ニ ア 女 子 5 5			
1	荒 木 義 幸 松 本 宣 博	熊本	苓北クラブ 宇土クラブ	1	上 山 親 子 久 富 貴 美 代	大阪	フ ァ ニ ー 堺 レ デ ィ ー ス
2	深 津 弘 樹 堀 部 秀 治	愛知	みよし市役所 N T T 名 古 屋	2	中 山 広 子 宮 本 陽 子	埼玉	さいたまドリームクラブ 東 松 山 レ デ ィ ス
3	鈴 木 等 安 蒜 厚	千葉	手賀沼クラブ 小金原クラブ	3	染 谷 啓 子 拜 原 み ゆ き	千葉 宮城	小 金 原 ク ラ ブ ウ ィ ナ ー ク ラ ブ
3	毛 利 喜 信 谷 本 満 裕	徳島	徳島抽栄会 大神子病院	3	大 谷 美 佐 木 下 之 美	徳島 和歌山	阿 南 ク ラ ブ ゆ う が ク ラ ブ

シ ニ ア 男 子 6 0				シ ニ ア 女 子 6 0			
1	篠 邊 保 石 川 雅 利	愛知 千葉	桜田クラブ 市川クラブ	1	小野寺 真智子 益 子 益 代	宮城 茨城	け や き ク ラ ブ 日 立 は ま ゆ う
2	松 舟 智 明 大 川 尚 洋	愛知	ウイングクラブ	2	安 達 伸 子 江 利 角 富 美 子	大分	ス ポ ー ツ マ ン シ ッ プ
3	常 久 正 則 藤 原 潔 志	岡山	岡山南高クラブ 岡山市役所	3	坂 見 美 和 子 窪 田 み つ 子	愛媛	愛 媛 ア カ エ ム ク ラ ブ 今 治 連 盟
3	吉 岡 和 幸 兼 田 忠 啓	新潟	糸魚川クラブ 中条クラブ	3	清 水 さ か ゑ 井 上 光 子	千葉	市 原 ド リ ー ム 北 柏 ラ イ フ タ ウ ン ク ラ ブ

シ ニ ア 男 子 6 5				シ ニ ア 女 子 6 5			
1	谷 本 優 小 森 稔 信	大阪	大阪OB軟庭会 堺 連 盟	1	尾 張 由 美 岩 原 慶 子	愛知	岡 崎 レ デ ィ ス ク ラ ブ
2	真 鍋 繁 実 直 原 隆 司	山口 広島	宇部興産 広 友 会	2	渡 辺 須 磨 子 犬 伏 恵 美 子	徳島	徳 島 庭 球 倶 楽 部 徳 島 抽 栄 会
3	長 澤 輝 雄 篠 山 明	埼玉	浦和あづまクラブ	3	後 藤 終 子 市 川 富 子	愛知 神奈川	す み れ ク ラ ブ 横 浜 レ デ ィ ー ス
3	桐 貴 文 田 原 美 成	山梨	山梨シニアクラブ 韭崎 市 連 盟	3	光 田 直 代 新 山 久 美 子	岡山 島根	西 大 寺 早 起 ク ラ ブ 松 江 レ デ ィ ー ス

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シ ニ ア 男 子 7 0				シ ニ ア 女 子 7 0			
1	相浦 誠 富岡 壽征	神奈川 東京	“K”S.T CLUB 松の木クラブ	1	小谷 苑子 高野 春子	東京 群馬	葛飾クラブ 前橋クラブ
2	小野 栄 近藤 清	埼玉 栃木	浦和あづまクラブ 西那須野クラブ	2	秋山 千代子 今西 敏子	神奈川 千葉	太陽クラブ 幸町クラブ
3	山口 和廣 豊福 尚弘	佐賀	鹿島クラブ 上峰クラブ	3	服部 京子 磯部 照子	愛知	すみれクラブ 津島市クラブ
3	石川 延房 岩本 義久	静岡	富士ファミリークラブ 静岡園クラブ	3	大塚 恵美子 林 孝江	群馬 埼玉	高崎中央クラブ 川口クラブ

シ ニ ア 男 子 7 5				シ ニ ア 女 子 7 5			
1	白石 一法 出水田 芳男	鹿児島	一球・クラブ クラシック	1	高羽 邦子 山田 悦子	大阪	堺ミルフィーズ 東大阪アミー
2	玉野 寿一 木本 有信	岐阜	土曜会 太平洋工業	2	田中 光子 稲垣 節子	愛知	葵クラブ
3	小松代 智夫 小島 晃	東京	旭クラブ 杉並文化クラブ	3	河合 かつ 中山 徳美	愛知 奈良	豊川協会 奈良クラブ
3	木地 孝嘉 望月 幹夫	愛知 埼玉	七宝町ソフト 浦和フレンドリー	3	宮崎 久子 杉本 征子	佐賀	鹿島クラブ 有田クラブ

シ ニ ア 男 子 8 0				シ ニ ア 女 子 8 0			
1	田万 豊廣 辻 喜千治	香川 愛媛	亀城クラブ 大洲S.T.A	1	福田 久恵 住友 康江	大阪 兵庫	枚方市連盟 すずらんクラブ
2	堤 国彦 城田 勝	京都 福岡	朝霧クラブ シロタスポーツクラブ	2	大久保 初子 鈴木 洋子	愛知 福島	すみれクラブ いわきママクラブ
3	若林 博之 中野 雅文	兵庫	三木クラブ 宝塚クラブ	3	大上 素子 篠田 知子	埼玉	上尾レディース 川越霞ヶ関テニス
3	森本 弘祐 石井 勝治	千葉	湖北台クラブ 浦安会	3	鶴川 千年 笹井 照子	大阪 京都	サンレディース 京都女子クラブ

シ ニ ア 混 合 5 0				シ ニ ア 混 合 5 5			
1	片桐 浩子 依田 教夫	長野	佐久S.T.A 長野市協会	1	染谷 啓子 藤生 政弘	千葉 東京	小金原クラブ 武蔵村山STC
2	山本 有美 堀越 晴夫	東京	杉並文化クラブ 板橋倶楽部	2	大谷 美佐 谷本 満裕	徳島	阿南クラブ 大神子病院
3	山田 美鈴 藤井 忠彦	岡山 愛知	玉島S.T.C 知立連盟	3	中山 広子 川野 辺武	埼玉	さいたまドリームクラブ 栗橋テニス
3	石川 美喜代 安藤 光基	愛知	碧南市協会 西尾協会	3	原田 隆 原田 久美子	岐阜	岐阜しらさぎクラブ TEAM KUMA

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シニア混合 60				シニア混合 65			
1	新開 均 伴戸 明己	徳島 北海道	永遠クラブ 札幌白石クラブ	1	沼田 義雄 沼田 ムツ子	熊本	宇土クラブ
2	原田 和昌 柏原 敦子	兵庫	加古川クラブ 明石レディース	2	小澤 孝 市川 富子	神奈川	金剛寺クラブ 横浜レディース
3	増田 加奈 小川 博	愛知	岡崎バード 三菱重工名古屋	3	高島 喜代美 金沢 秀夫	東京	杉並支部 国分寺クラブ
3	富田 喜彦 神野 弓子	愛知	三菱重工名古屋 すみれクラブ	3	綱島 憲一 園 菊代	大阪	堺連盟 東淀川クラブ

シニア混合 70			
1	近藤 清 横野 久美子	栃木 愛知	西那須野クラブ すみれクラブ
2	東山 賢司 南雲 睦子	東京 神奈川	江戸川クラブ 洋光台クラブ
3	大井 多恵 井川 義則	愛知 岐阜	森林クラブ 岐阜しらさぎクラブ
3	佐々木 文義 清水 和子	静岡 鹿児島	橘クラブ 伊敷レディース

ジュニアシングルスU-14 男子				ジュニアシングルスU-14 女子			
1	野口 快	埼玉	芝東中学校	1	天間 美嘉	青森	東北中学校
2	菊山 太陽	和歌山	西和中学校	2	松岡 琴美	岡山	山陽女子中学校
3	野口 遼	埼玉	わかくさ	3	近坂 優衣	和歌山	L.C.C.
3	小泉 瑠唯	埼玉	秩父第一中学校	3	望月 聖那	兵庫	夢前中学校

ジュニアシングルスU-17 男子				ジュニアシングルスU-17 女子			
1	幡谷 康平	奈良	高田商業高校	1	赤川 友里奈	埼玉	埼玉平成高校
2	西田 駿人	奈良	高田商業高校	2	西東 彩葉	東京	文化学園大学杉並高校
3	武市 大輝	山口	下松中学校	3	浪岡 菜々美	三重	三重高校
3	北爪 琉登	群馬	荒砥中学校	3	佐古 香織	東京	文化学園大学杉並高校

ジュニアシングルスU-20 男子				ジュニアシングルスU-20 女子			
1	上松 俊貴	日本学連	早稲田大学	1	林田 リコ	日本学連	東京女子体育大学
2	上岡 俊介	日本学連	同志社大学	2	早川 日向	東京	ナガセケンコー
3	広岡 宙	広島	N T T 西日本	3	小林 愛美	東京	文化学園大学杉並高校
3	北本 達己	日本学連	明治大学	3	島津 佳那	日本学連	東京女子体育大学

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

ジュニアダブルスU - 14 男子				ジュニアダブルスU - 14 女子			
1	根岸 藩紋 小泉 瑠唯	埼玉	秩父第一中学校	1	松岡 琴美 向畑 奈々未	岡山 大阪	山陽女子中学校 昇陽中学校
2	松尾 和桃 菊山 太陽	岐阜 和歌山	糸貫中学校 西和中学校	2	天間 美嘉 中谷 さくら	青森 兵庫	東北中学校 浜の宮中学校
3	國松 樹人 國松 巧	新潟	小千谷市ジュニア	3	望月 聖那 桑木 愛花	兵庫 栃木	夢前中学校 芳賀中学校
3	南 龍之介 早川 悠佑	東京	稲城ジュニア	3	鈴木 美貴 杉本 希	埼玉	広島中学校

ジュニアダブルスU - 17 男子				ジュニアダブルスU - 17 女子			
1	中別府 峻 池口 季将	奈良	高田商業高校	1	赤川 友里奈 根岸 楓英奈	埼玉 大阪	埼玉平成高校 昇陽高校
2	野田 楓磨 永江 孝二郎	福岡	高田中学校	2	岡野 萌々子 岡野 若菜	広島	広島翔洋高校
3	白川 雄己 中原 壮琉	香川 熊本	尽誠学園高校 帯山中学校	3	小松崎 茉代 西東 彩菜	東京	文化学園大学杉並高校
3	仲川 晴智 松本 翔太	三重 東京	矢渕中学校 清明学園中学校	3	高橋 朱里 青松 淑佳	大阪	昇陽中学校

ジュニアダブルスU - 20 男子				ジュニアダブルスU - 20 女子			
1	中西 夏輝 田中 駿平	大阪	上宮高校	1	松井 玲奈 古田 麻友	和歌山 日本学連	和歌山信愛高校 関西大学
2	上岡 俊介 広岡 宙	日本学連 広島	同志社大学 N T T 西日本	2	木瀬 晶絵 小松 芹菜	兵庫 日本学連	須磨学園高校 東京女子体育大学
3	根本 拓哉 斎藤 龍二	山形	羽黒高校	3	前山 愛 森本 彩鼓	新潟 日本学連	北越高校 立教大学
3	水木 瑠 福田 成海	宮城	東北高校	3	上野 小町 吉田 滯奈	大阪	昇陽高校

男子シングルス				女子シングルス			
1	船水 颯人	日本学連	早稲田大学	1	尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
2	長江 光一	広島	N T T 西日本	2	黒田 奈穂子	日本学連	日本体育大学
3	船水 雄太	広島	N T T 西日本	3	中川 瑞貴	東京	ナガセケンコー
3	阪本 峻	日本学連	関西大学	3	高橋 乃綾	広島	どんぐり北広島
5	上岡 俊介	日本学連	同志社大学	5	田中 純	日本学連	関西大学
5	中原 寛海	広島	マツダ	5	塚川 優女	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	井口 雄介	宮崎	スマッシュイグチクラブ	5	山田 優菜	三重	松阪興産
5	荒尾 大輔	山口	宇部興産	5	徳川 愛実	東京	ヨネックス

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

大 学 男 子				大 学 女 子			
1	安藤 優作 内田 理久	日本学連	早稲田大学	1	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
2	長尾 景陽 松本 倫旺	日本学連	早稲田大学	2	塚川 優女 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
3	北本 達己 斉藤 大樹	日本学連	明治大学	3	井田 真季 中村 日菜子	日本学連	日本体育大学
3	阪本 峻 大橋 和生	日本学連	関西大学	3	山本 沙奈 花園 優帆	日本学連	早稲田大学
5	本倉 健太郎 丸山 海斗	日本学連	明治大学	5	石本 久美子 福田 茉畝	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	上岡 俊介 三輪 惇平	日本学連	同志社大学	5	坂井 玲美 久保 晴華	日本学連	日本体育大学
5	谷口 睦 飯田 脩三	日本学連	関西大学	5	小山 舞 上原 由佳	日本学連	早稲田大学
5	内本 隆文 星野 慎平	日本学連	早稲田大学	5	宮野 理沙 濱名 優佳	日本学連	和洋女子大学

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

高 校 男 子				高 校 女 子			
1	下原 涼太 林 湧太郎	奈良	高田商業高校	1	小林 愛美 原島 百合香	東京	文化学園大学杉並高校
2	花岡 忠寿 増田 祐太	奈良	高田商業高校	2	長谷川 憂華 立花 さくら	岡山	山陽女子高校
3	山本 大陸 西田 駿人	奈良	高田商業高校	3	佐古 香織 江頭 明凜	東京	文化学園大学杉並高校
3	中西 夏輝 田中 駿平	大阪	上宮高校	3	田川 美怜 浪岡 菜々美	三重	三重高校
5	根本 拓哉 齋藤 龍二	山形	羽黒高校	5	岡野 萌々子 岡野 若奈	広島	広島翔洋高校
5	小倉 輝 檜山 遥斗	宮城	東北高校	5	木原 那菜 木原 恵菜	奈良	高田商業高校
5	北野 亮介 鈴木 竜弥	宮城	東北高校	5	齋木 菜々花 吉野 南美	千葉	昭和学院高校
5	西本 一雅 森田 晴紀	宮崎	都城商業高校	5	上野 小町 吉田 滢奈	大阪	昇陽高校
9	境 颯汰 霍田 薫	熊本	熊本工業高校	9	前山 愛 水澤 奈央	新潟	北越高校
9	白鳥 怜 星 終也	宮城	東北高校	9	花尻 風夏 高場 姫菜	三重	三重高校
9	大谷 陽登 戸田 佳惟斗	三重	三重高校	9	近藤 衿奈 八田 乃々楓	京都	京都光華高校
9	中村 海斗 米澤 宗哉	岡山	岡山理科大学附属高校	9	木瀬 晶絵 平岡 琴恵	兵庫	須磨学園高校
9	深野 尚矢 古山 祐也	宮城	東北高校	9	塩路 千裕 塩路 ほのか	和歌山	和歌山信愛高校
9	松村 駿樹 須賀 紀太	東京	早稲田実業高校	9	大久保 由希 三好 夏未	栃木	白鷗大学足利高校
9	前田 拓夢 西端 隆汰	奈良	高田商業高校	9	松井 玲奈 川崎 海奈	和歌山	和歌山信愛高校
9	尾山 仁哉 上田 悠馬	富山	高岡商業高校	9	井本 寛乃 山口 桜子	愛知	岡崎城西高校

# 平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

中 学 男 子				中 学 女 子			
1	森川 亮介 小宮 山建	広島	向陽中学校	1	高橋 朱里 青松 淑佳	大阪	昇陽中学校
2	高橋 海斗 黒坂 卓矢	埼玉	芝東中学校	2	山岡 鈴芽 山岡 愛芽	愛媛	伯方中学校
3	喜楽 洸音 北爪 琉登	群馬	荒砥中学校	3	岡田 采華 行田 夏菜子	島根	大田第一中学校
3	菅野 晃太郎 工藤 陽光也	神奈川	領家中学校	3	鈴木 美貴 杉本 希	埼玉	広島中学校
5	佐々井 清陽 上通 弘夢	兵庫	上郡中学校	5	高橋 偲 紺野 未実	岩手	胆沢中学校
5	上村 純也 金澤 慧	埼玉	松山中学校	5	星 絢菜 小柴 由貴	千葉	昭和学院中学校
5	野口 快 長 知弥	埼玉	芝東中学校	5	久留 紅 北川 アンナ璃咲	京都	京都光華中学校
5	武市 大輝 西村 公佑	山口	下松中学校	5	小川 ことみ 町田 寧音	千葉	昭和学院中学校

小 学 男 子				小 学 女 子			
1	國松 樹人 國松 巧	新潟	小千谷市ジュニアクラブ	1	柴田 凜 浜 中 陽	京都	福知山ジュニアソフトテニスクラブ
2	小山 寛晴 野口 遼	埼玉	鳩ヶ谷ソフトテニスジュニア わかくさ	2	小柴 杏寧 浦山 皐	富山	WING射水スポーツ少年団
3	川崎 康平 大山 瑠偉	宮崎	清武ジュニアソフトテニスC スターキッズ	3	安井 花凜子 近坂 優衣	和歌山	和歌山・橋本ジュニアソフトテニスクラブ L . C . C .
3	植田 璃音 結城 純平	東京	高畑ジュニアソフトテニスクラブ 砧南ジュニアソフトテニスクラブ	3	西條 葵 宮本 絢菜	茨城	水戸ソフトテニススポーツ少年団
5	小坂 海翔 大家 健慎	富山	入善EASTクラブ スポーツ少年団	5	前川 愛生 中谷 ももこ	兵庫	明石ジュニアクラブ
5	南 龍之介 早川 悠佑	東京	稲城ジュニアソフトテニスクラブ	5	塚本 七海 薄 優衣	愛知	朝日 S . T . C
5	大槻 寛介 千葉 琉翔	宮城	仙台青葉 J S T 若柳ソフトテニススポーツ少年団	5	岩田 夏穂 磯部 由佳	東京	稲城ジュニアソフトテニスクラブ
5	牧野 渉 片貝 匠	群馬	スマイリーソフトテニスクラブ 前橋ジュニアソフトテニスクラブ	5	河原 愛花 比留間 ほの香	東京	池雪ジュニアソフトテニスクラブ 世田谷ジュニアソフトテニスクラブ



7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業

(1) 技術等級の認定を次のとおり行った。(数値:名)

等級	名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	計
平成30年度	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653
平成29年度	0	0	67	11	346	15	361	1,335	1,640	3,186	6,961

(注) 平成30年度都道府県別認定者数は別表2(P58)に掲載

(数値:名)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人 数	6,916	6,715	6,812	6,450	6,961	6,653

(2) 大会申込システムと連動して大会参加資格のチェックを行った。

(3) 技術等級資格取得者を増大するため、制度の見直しを検討した。

8. ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業

(1) 公認審判員の認定を次のとおり行った。(数値:名)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
マスター レフェリー		41	58	60	78	60	40
マスター アンパイヤー		45	42	70	62	72	87
1 級		215	248	284	282	236	284
2 級	一 般	9,380	9,229	10,389	9,920	10,121	9,209
	高 校	18,628	20,256	21,331	22,474	22,050	21,854
ジュニア		36,545	39,657	39,321	40,171	35,524	36,721
計		64,854	69,490	71,455	72,987	68,062	68,195

(注) 平成30年度都道府県別認定者数は別表3(P59)に掲載

(2) 1級審判員の検定会(参加者:83名)と研修会(参加者:222名)を、次のとおり実施した。

	実施期日	会 場	参加者(名)
検定会	平成31年1月19日~20日	東京都・大森スポーツセンター	47
	平成31年2月16日~17日	鹿児島県・ふれあいスポーツランド	36
研修会	平成30年11月24日	埼玉県・スポーツ総合センター	52
	平成31年1月6日	宮崎県・高鍋町総合体育館	14
	平成31年1月26日	静岡県・浜北総合体育館グリーンアリーナ	13
	平成31年1月26日	福島県・本宮第一中学校	51
	平成31年1月27日	岡山県・備前市総合運動公園体育館	41
	平成31年2月3日	愛媛県・今治市営スポーツパークテニスコート	17
	平成31年2月16日	奈良県・田原本町中央体育館	14
平成31年2月17日	新潟県・高田スポーツセンター	20	

(3) ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等を販売・配布した。(数値：冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエロー カード等	ジュニア審判 マニュアル
平成 30 年度	23,634	2,629	847	23,719	38,800
平成 29 年度	24,383	4,819	879	24,431	32,534

(4) 審判員の普及促進と資質向上のため下記を行った。

- ①審判員バンク及び派遣審判員制度の検討
- ②審判 DVD の活用
- ③ジュニア審判員普及促進
  - ・小学生高学年及び中学生対象の「ジュニア審判マニュアル」によるルールを理解を図った。
  - ・小学生低学年対象の「ルール（きまり）とマッチ（試合）の進め方」によるルールを理解を図った。
- ④全国審判委員長会議開催の検討

## 9. ソフトテニス用具・用品、施設の公認

(1) 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行った。

①公認事業者の更新を承認した。

(P50～P51 (3)維持会費ア.公認メーカー イ.施設業者を参照)

②ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。(数値：枚)

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ラケット証紙	460,146	369,825	429,345	359,560	378,710	314,180
ネット証布	3,400	2,800	2,650	2,700	3,000	2,150

## 10. 普及振興のための医科学研究事業

(1) 普及発展および競技力向上のため、学術的な貢献をするべく事業を推進した。

- ①平成 30 年度の小・中・高校指導者研修会にて「平成 29 年度日本ソフトテニス連盟医科学研究報告書」に沿った内容で講演を行った。
- ②公認コーチ養成講習会にて、「ソフトテニス選手の栄養サポート」講習を実施した。
- ③全国トレーナー研修会を開催し、資質向上のための研修を実施した。
- ④下記の国内大会でトレーナーブースを開設し、参加者の身体ケアを行った。
  - ・第 18 回アジア競技大会日本代表選手予選会
  - ・全日本シングルス選手権大会
  - ・天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会
- ⑤日本スポーツ協会主催のスポーツドクター代表者会議に、医学部会委員が出席した。
- ⑥平成 30 年度医科学研究報告書を発行し、各加盟団体および関係各位に配布した。

(2) アンチ・ドーピングに関する活動

ドーピング検査への協力およびアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。

- ①国内大会で実施されたドーピング検査に協力した。日本スポーツ振興センターより 3,558,000 円の助成を受けた。

- ・第18回アジア競技大会日本代表選手予選会
  - ・全日本シングルス選手権大会
  - ・天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会
  - ・全日本インドア選手権大会
- ②ドーピング検査実施において、競技団体側より NF-Rep として検査をサポートした。
- ③アンチ・ドーピングガイドを作成して日本連盟ホームページ等に掲載した。
- ④指導者や選手の家族へのアンチ・ドーピング教育について検討した。
- ⑤アウトリーチ活動(アンチ・ドーピングについての広報活動)としてのブースを競技者育成プログラム Step-4 において開設し、202名の選手が参加した。
- ⑥情報収集、知識向上のため、日本アンチ・ドーピング機構の開催する各種研修会にアンチ・ドーピング部会員が参加した。

## II. ソフトテニスの競技力向上事業

### 1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

#### (1) 競技力向上

\*世界No.1の競技力の維持を目指して次の事業を実施した。

##### 1) 競技者育成プログラムの推進

- ・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムを Step1 から Step5 の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。Step-1 から Step-3 は(独法)スポーツ振興くじ助成金対象事業。Step-4 はスポーツ拠点化事業として実施した。

- ① Step-1,2 47都道府県で強化練習会・選考会を実施し、400,000円を助成した。
- ② Step-3 U-14/U-17/U-20の男女が8ブロックで別表のとおり行われ、強化練習会・選考会を実施した。

##### 2) 競技者育成プログラム改訂に向けての取り組み

実施から10年以上が経過したプログラムを見直し、より競技力向上の成果があがるプログラムについて検討を行った。

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリ別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/31~9/2	168	7	28	4	4	2	1	214
関 東 (埼玉県・熊谷市)	8/31~9/2	192	8	32	3	4	2	1	242
北信越 (石川県・小松市)	8/24~26	120	5	19	4	4	1	1	154
東 海 (三重県・四日市市)	8/30~9/1	96	4	15	4	4	1	1	125
近 畿 (和歌山県・和歌山市)	8/24~26	144	6	24	3	4	2	1	184
中 国 (広島県・三次市)	8/31~9/2	117	5	20	4	4	2	1	153
四 国 (徳島県・徳島市)	8/24~26	96	4	16	3	4	2	1	126
九 州 (熊本県・熊本市)	8/24~26	188	8	32	4	4	1	1	238
合 計		1,121	47	186	29	32	13	8	1,436

※スポーツ振興くじ助成金の対象事業として51,667,000円の助成を受けた。

③第13回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム（Step-4）」を下記のとおり実施した。

期 日：11月16日・17日（強化練習会兼選考会）

11月18日・19日（第13回ジュニアジャパンカップ）

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート・久峰総合運動公園テニスコート

選 手：U-14（男子：42名・女子：42名）計84名

U-17（男子：42名・女子：46名）計88名

U-20（男子：36名・女子：30名）計66名

指 導 者：24名（各カテゴリーの男女別に4名）

役員・補助員：129名

### 3) 日本代表チーム、ナショナルチーム及びアンダーチームの強化合宿

① 日本代表チームおよびナショナルチーム（男子、女子）の強化合宿を実施した。

	回数	実施期日	参加者(名)		会 場	
			スタッフ	選手		
代表候補	①	平成30年6月1日～6日	6	10	三重県・四日市市	
代表	①	平成30年7月4日～8日	6	12	インドネシア	
	2	平成30年7月26日～29日（男子）	3	7	大阪府・大阪市	
	3	平成30年8月11日～13日（女子）	3	5	神奈川県・横浜市	
	④	平成30年8月22日～25日	6	10	インドネシア	
ナショナル	男子	①	平成30年4月28日～5月3日	3	14	大阪府・大阪市
		2	平成31年3月21日～26日	3	15	三重県・四日市市
	女子	①	平成30年4月28日～5月3日	3	14	大阪府・大阪市
		2☆	平成31年2月8日～13日	3	18	三重県・四日市市

② 全日本U-14、U-17、U-20（男子、女子）強化合宿を次のとおり実施した。

	カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会 場	
			スタッフ	選手		
男子	U-20	1	平成30年6月1日～6日	2	15	三重県・四日市市
		2☆	平成31年2月19日～24日	3	20	三重県・四日市市
	U-17	1☆	平成30年4月13日～18日	3	18	福島県・東白川郡
		②（日韓中ジュニア代表チーム）	平成30年8月20日～22日	2	6	神奈川県・横浜市
		3☆	平成31年2月19日～24日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	①☆	平成30年5月26日～31日	3	20	三重県・鈴鹿市
		2☆	平成31年2月19日～24日	3	20	三重県・四日市市

女子	U-20	1☆	平成 30 年 8 月 28 日～9 月 2 日	4	14	香川県・丸亀市
		2☆	平成 31 年 2 月 8 日～13 日	3	18	三重県・四日市市
	U-17	1☆	平成 30 年 4 月 8 日～13 日	2	20	三重県・鈴鹿市
		② (日韓中 ジュニア代表 チーム)	平成 30 年 8 月 20 日～22 日	2	6	神奈川県・横浜市
		3☆	平成 31 年 2 月 9 日～14 日	2	20	三重県・四日市市
	U-14	①☆	平成 30 年 5 月 26 日～31 日	3	20	三重県・鈴鹿市
		2☆	平成 31 年 2 月 9 日～14 日	3	20	三重県・四日市市

(注 1) ☆印は (公財) 日本オリンピック委員会の補助事業である。(11,517,000 円)

(注 2) ○印の合宿は男女合同で実施した。

#### 4) 競技力向上のための海外遠征

- ・ 次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図った。(敬称略)

##### \* 2018 ワタキューカップハワイ大会

ア. 開催国 アメリカ合衆国 (ハワイ)

イ. 4 月 5 日～9 日

ウ. 派遣者

団 長 野際照章 (日本連盟専務理事)

選 手 阪本峻 (関西大学) 高倉和毅 (早稲田大学)

星野雄慈 (日本体育大学) 米澤要 (明治大学)

エ. 参加国

日本、韓国、タイ、フィリピン、アメリカ、ハワイ  
インド、ブラジル

オ. 成績

シングルス

優 勝 高倉和毅

第 3 位 阪本峻

ダブルス

第 3 位 阪本峻・米澤要

第 3 位 高倉 和毅・星野 雄慈

##### \* 第 17 回チャイナカップ

中国・浙江省において、6 月 16 日～6 月 23 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 中華人民共和国

イ. 6 月 16 日～23 日

ウ. 派遣者

団 長 丹崎健一 (日本連盟常務理事)

男子監督 堀晃大 (NTT西日本)

女子監督 田中弘 (強化委員)

トレーナー 吉川友巳奈 (ゆらく接骨院)

男子選手 広岡宙 (NTT西日本) 阪本峻 (関西大学)

星野雄慈 (日本体育大学) 瀬口翔太 (トヨタ自動車)

高村悌紳 (関西外国語大学) 永井宏典 (日本体育大学)

女子選手 片野理音 (東京女子体育大学) 下地彩可 (関西外国語大学)

小松芹奈 (東京女子体育大学) 島津佳那 (東京女子体育大学)

	黒田麻衣(ヨネックス)	小山舞(早稲田大学)
エ. 参加国	日本、中国、韓国、中華台北、北朝鮮、フィリピン、 モンゴル、ポーランド、チェコ、タイ	
オ. 成績	女子国別対抗戦	第三位 高倉和毅
	ミックスダブルス	準優勝 瀬口・黒田
		第三位 片野・広岡
	女子シングルス	第三位 島津佳那
		第三位 小山舞

\* 第26回日・韓・中ジュニア交流競技会

韓国・全羅南道 麗水市において、8月23日～8月29日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 大韓民国

イ. 8月23日～29日

ウ. 派遣者

団 長	川西斎(日本連盟理事)	
男子監督	池田征弘(西城陽高高校)	
女子監督	篠原和隆(前橋商業高校)	
トレーナー	小亀裕美(大阪ハイテクノロジー専門学校)	
男子選手	林湧太郎(高田商業高校)	田中駿平(上宮高校)
	真玉大輔(松江工業高校)	白川雄己(尽誠学園高校)
	池田季将(高田商業高校)	中別府稜(高田商業高校)
女子選手	竹田真樹(三重高校)	吉田滯奈(昇陽高校)
	原口美咲(中村学園高校)	小林愛美(文大杉並高校)
	木瀬晶栄(須磨学園高校)	原島百合香(文大杉並高校)

エ. 参加国 日本、韓国、中国

オ. 成績 男子：優勝 女子：優勝

\* 第18回アジア競技大会

インドネシア・パレンバンにおいて、8月27日～9月1日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

イ. 開催国 インドネシア

イ. 8月27日～9月1日

ウ. 派遣者

団 長	北本英幸(日本連盟常務理事)
マネージャー	吉川友巳奈(ゆらく接骨院)
男子監督	中堀成生(NTT西日本)
女子監督	斉藤広宣(松戸市役所)
男子コーチ	川村達郎(宇部興産)
女子コーチ	高川経生(ヨネックス)
男子トレーナー	田中京介(せんだメディカルクリニック)
女子トレーナー	川上晃司(スポーツインテリジェンス)

医科学	スポーツ科学部会 工藤敏巳 (宮城学院女子大学) スポーツ科学部会 永野康治 (日本女子体育大学)
男子選手	船水颯人(早稲田大学) 上松俊貴(早稲田大学) 丸中大明(NTT西日本) 長江光一(NTT西日本) 増田健人(和歌山県庁)
女子選手	林田リコ(東京女子体育大学) 半谷美咲(どんぐり北広島) 高橋乃綾(どんぐり北広島) 尾上胡桃(日本体育大学) 黒木瑠璃華(ヨネックス)
エ. 参加国	日本、韓国、ラオス、モンゴル、カンボジア、中国 インドネシア、インド、パキスタン、フィリピン、タイ 中華台北、北朝鮮、ベトナム
オ. 成績	女子シングルス 優勝(金メダル) 高橋乃綾 ミックスダブルス ベスト4(銅メダル) 上松・林田 男子国別対抗戦 第二位(銀メダル) 女子国別対抗戦 優勝(金メダル)

\*第3回 世界ジュニア選手権大会

韓国・順天市において、11月18日～11月24日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 大韓民国

イ. 11月18日～24日

ウ. 派遣者

団 長	野際照章 (日本連盟専務理事)
男子U-21 監督	堀晃大 (NTT西日本)
女子U-21 監督	北本英幸 (石川県立金沢伏見高校)
男子U-18 監督	高橋茂 (清明学園中学校)
女子U-18 監督	篠原和隆 (前橋商業高校)
男子U-15 監督	橋本康徳 (京都市立西総合支援学校)
女子U-15 監督	安達和紀 (城山クラブ)
トレーナー	深間内誠 (鈴鹿回生病院) 高川亜紀 (日域整形外)
男子U-21 選手	本倉健太郎(明治大学) 丸山海斗(明治大学) 上岡俊介(同志社大学) 廣岡宙(NTT西日本) 金子大祐(明治大学) 星野雄慈(日本体育大学)
女子U-21 選手	林田リコ(東京女子体育大学) 貝瀬ほのか(ヨネックス) 笠井佑樹(日本体育大学) 芝崎百香(ナガセケンコー) 黒田麻衣(ヨネックス) 島津佳那(東京女子体育大学)
男子U-18 選手	高倉和毅(早稲田大学) 林誠太郎(同志社大学) 福田成海(東北高校) 北野亮介(東北高校) 中別府凌(高田商業高校) 林湧太郎(高田商業高校)
女子U-18 選手	宮下こころ(明治大学) 片野理音(東京女子体育大学) 小松芹奈(東京女子体育大学) 竹田真樹(三重高校)

	吉田滯奈(昇陽高校) 小林愛美(文化学園大学杉並高校)
男子 U-15 選手	幡谷康平(高田商業高校) 武市大輝(下松中学校)
	野田楓磨(高田中学校) 永江孝二郎(高田中学校)
	菅野晃太郎(領家中学校) 松本隼(輪島中学校)
女子 U-15 選手	濱島怜奈(鈴峯女子中学校) 青松淑佳(昇陽中学校)
	大友紅実(長森中学校) 生井沢日向子(潮来第一中学校)
	原田美結(追分中学校) 五十嵐美結(光が丘第二中学校)
エ. 参加国	日本、中国、カンボジア、ハンガリー、インド、 インドネシア、ラオス、韓国、カザフスタン、ネパール、 マレーシア、モンゴル、パキスタン、フィリピン、 ロシア、中華台北、タイ、ウズベキスタン、ベトナム
オ. 成績	男子 U-21 ダブルス 第三位 本倉・丸山
	男子 U-18 ダブルス 優勝 高倉・林(湧)
	準優勝 北野・林(誠)
	男子 U-15 ダブルス 優勝 野田・永江
	第三位 幡谷・武市
	女子 U-21 ダブルス 優勝 林田・島津
	準優勝 笠井・芝崎
	第三位 貝瀬・黒田
	女子 U-18 ダブルス 優勝 片野・小松
	準優勝 小林・宮下
	第三位 竹田・吉田
	女子 U-15 ダブルス 優勝 五十嵐・原田
	準優勝 濱島・青松
	第三位 大友・生井沢
	男子 U-21 シングルス 第三位 上岡俊介
	男子 U-18 シングルス 優勝 高倉和毅
	第三位 北野亮介
	男子 U-15 シングルス 優勝 幡谷康平
	第三位 武市大輝
	女子 U-21 シングルス 優勝 林田リコ
	準優勝 貝瀬ほのか
	女子 U-18 シングルス 準優勝 小林愛美
	第三位 小松芹奈
	女子 U-15 シングルス 優勝 濱島怜奈
	準優勝 大友紅実
	第三位 五十嵐美結

\* 2018 コリアカップ

韓国・安城市において 11 月 11 日～18 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。



ア. 開催国 大韓民国

イ. 11月11日～18日

ウ. 派遣者

団長	野際照章（日本連盟専務理事）	
コーチ	川村達郎（宇部興産）	高川経生（ヨネックス）
トレーナー	田中京介（せんだメディカルクリニック）	
男子選手	船水颯人（早稲田大学）	上松俊貴（早稲田大学）
	船水雄太（NTT西日本）	九島一馬（ミズノ）
	安藤優作（早稲田大学）	内田理久（早稲田大学）
女子選手	徳川愛実（ヨネックス）	黒木瑠璃華（ヨネックス）
	泉谷朋香（東芝姫路）	大槻麗（ダンロップ）
	尾上胡桃（日本体育大学）	

エ. 参加国

日本、韓国、マレーシア、パキスタン、カンボジア、モンゴル、キルギス、ロシア、タイ、インド、ハンガリー、中華台北、インドネシア、カザフスタン、中国、ラオス、フィリピン

オ. 成績

男子シングルス	優勝	上松俊貴
	第三位	船水颯人
女子シングルス	第三位	尾上胡桃
男子ダブルス	優勝	船水・上松
	準優勝	安藤・内田
女子ダブルス	準優勝	大槻・泉谷
	第三位	徳川・黒木
男子国別対抗戦	優勝	
女子国別対抗戦	ベスト8	

\* 第8回タイオープン国際ソフトテニス選手権大会

タイ・バンコクにおいて2月27日～3月5日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 タイ王国

イ. 2月27日～3月5日

ウ. 派遣者

団長	野際照章（日本連盟専務理事）	
男子選手	内本隆文（早稲田大学）	内田理久（早稲田大学）
女子選手	中川瑞貴（ナガセケンコー）	柴崎百香（ナガセケンコー）

エ. 参加国

日本、中国、インド、タイ

オ. 成績

男子ダブルス	優勝	
女子ダブルス	優勝	
ミックスダブルス	優勝	中川・内田
	第二位	内本・芝崎

男子シングルス 第二位 内本隆文  
 第三位 内田理久  
 女子シングルス 優勝 中川瑞貴  
 第三位 芝崎百香

5) 各種大会視察

- 強化委員および強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。 (敬称略)

大会名	派遣者
アジア競技大会日本代表選手予選 会	北本英幸、篠邊保、中堀成生、川村達郎、 齊藤広宣、高川経生
全日本シングルス選手権大会	北本英幸、中堀成生、川村達郎、齊藤広宣、 高川経生、伊加英隆
全日本小学生選手権大会	安達和紀
全国中学校大会	橋本康徳、松元誠二
全日本選手権大会	北本英幸、篠邊保、田中弘、小野寺剛、中堀成生、 川村達郎、齊藤広宣、高川経生、伊加英隆、 川崎智成

(2) 競技力向上事業における医科学研究調査

- ①競技者育成プログラム Step-4 にて「アスリートに必要なメンタルとは」と題した講習会を行った。
- ②国内外の下記大会および合宿に医科学委員会より帯同し、ゲーム分析を行い、データと映像によるフィードバックを行った。強化委員会と医科学委員会が連携し、選手強化や戦略の構築を行った。
  - ・全日本インドア選手権大会
  - ・チャイナカップ (中国)
  - ・第 18 回アジア競技大会日本代表チーム現地合宿 (インドネシア)
  - ・第 18 回アジア競技大会 (インドネシア)
- ③国立スポーツ科学センターのアスリートチェック事業としてトータルスポーツクリニックを実施し、強化選手の各種測定などからデータ収集を行った。ヨネックススポーツ振興財団より 440,000 円の助成を受けた。
- ④強化チーム合宿に、医学部会所属の内科系医師および整形外科医師各 1 名を派遣し、メディカルチェックおよび身体管理について指導を行った。
- ⑤医学部会所属の栄養士により、下記の事業を実施した。
  - ・強化チーム合宿において「スポーツ栄養」として講習会を実施した。
  - ・合宿中の栄養状態改善のため、献立作成を行い、関係施設への協力を依頼した。
  - ・選手への食事指導のため栄養調査を実施し、改善点のフィードバックのため分析した。
- ⑦強化選手に対し、各年代にあわせた内容でアンチ・ドーピング講習会を行った。
- ⑧試合映像、分析データの保守・管理について検討した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成

①指導者養成事業の推進

ア. 公認スポーツ指導者制度の変更に伴い、2020 年実施に向けて専門科目カリキュラムの見

直しに取り組んだ。

イ. 指導員養成講習会専門科目を開催した(開催事業 16 会場)

実施都道府県

北海道、宮城県、秋田県、群馬県、神奈川県、富山県、石川県、愛知県、京都府、岡山県、  
広島県、山口県、愛媛県、熊本県、大分県、沖縄県

ウ. 公認スポーツ指導者有資格者以外のソフトテニス指導者の現状把握について検討した。

エ. 中・高等学校指導者育成のための方策を検討した。

オ. 指導者養成講習会を下記会場で実施した。

スポーツ専門学校 1 会場 履正社医療スポーツ専門学校

カ. 「ソフトテニス指導マニュアルジュニア編」の改訂に向けて、現行の指導教本に基づき変更すべき箇所など具体的作業に取り組んだ。

キ. 上級指導員養成講習会(専門科目)を積極的に開催してもらえるよう現在の状況把握を進めた。

ク. 中学校および高等学校におけるソフトテニス未経験の顧問(先生)を対象とした講習会開催について、実施加盟団体情報を集約するとともに講師派遣方法等について検討した。

ケ. スポーツ庁からの「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、「ソフトテニス部活動指導の手引き」を作成し、ホームページに掲載した。

## ②全国小・中・高指導者研修会

昨年度に続き、本年度も愛知県名古屋市の邦和セミナープラザで2日間にわたり研修会を実施した。今回は実技指導を取り入れたが、小学生・中学生・高校生指導者の連携のためのディスカッションの必要性が課題となった。

・日程：平成 31 年 2 月 16 日(土)・17 日(日)

・場所：邦和セミナープラザ

・参加人数：日本連盟(役員・指導者)36名、加盟団体代表137名

・研修内容

ア. JASP における新しい映像コンテンツについて

イ. 医科学研究報告書の解説

ウ. ベースラインプレーヤーとネットプレーヤーの指導方法について(実技)

## ③指導者バンク(日本連盟)の確立および推進

競技者育成プログラムおよび指導者養成推進等のために日本連盟として指導者バンクを有効に活用する方策等について検討を行った。

## ④ジュニア層指導者の資格取得推進

ジュニア層指導者の資格取得を積極的に推進した。

### Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

#### 1. ソフトテニスの国際振興

##### (1) 国際普及活動の推進

- ①アジア連盟加盟国会議(タイ・チェンマイ 2018 年 12 月 8 日～11 日)に、西村顧問、笠井副会長、野際専務理事、丹崎国際委員長、玉木国際委員、赤須国際委員が参加した。
- ②普及対象国への指導者、選手の派遣体制と制度化を検討した。
- ③海外の指導者及び選手の受け入れ体制と制度化を検討した。
- ④韓国のジュニア選手を交流のため受け入れた。
- ⑤ASTF 会議において、アウトコートサイズを、国際テニス連盟規則に合わせる提案をし、承認された。次回 ISTF 総会にて諮られる予定。
- ⑥用具・用品の支援として、ラケット・ボールの無償提供を実施した。(ボール 140 ダース、ラケット 170 本)
- ⑦国際普及親善活動実施の加盟団体に対して「国際親善大会補助費」を助成した。  
福井県連盟、福岡県連盟、山口県連盟、香川県連盟、山形県連盟、滋賀県連盟、兵庫県連盟、広島県連盟、宮崎県連盟、近畿連盟、北海道連盟、日本学生連盟、徳島県連盟、

##### (2) 国際大会の開催促進

- ①第 18 回アジア競技大会(2018 年インドネシア)に、TD(テクニカルデレゲート)として丹崎国際委員長を派遣した。
- ②関西ワールドマスターズゲームズ 2021 のTD(テクニカルデレゲート)として野際専務理事を派遣することとし、組織委員会と打合せを行った。
- ③世界ジュニア選手権大会(2018 年韓国)への各カテゴリーの選手派遣についてISTFと調整を行った。
- ④海外大会への日本人の参加を推進した。

##### (3) 国際組織 (ISTF、ASTF) への協力

- ①2018 年 12 月 8 日～11 日の ASTF ミーティング(タイ・チェンマイ)開催に協力した。
- ②ISTF 会長(朴氏・韓国)の死去に伴い、笠井副会長、野際専務理事、丹崎国際委員長が、葬儀弔問でソウルを訪問した。
- ③会長の急逝に伴い、今後のISTFと日本連盟の関わりについての検討を開始した。

## [各事業を推進するための組織と財政の強化]

### I. 組織と財政の強化

#### 1. 組織と財政の強化の推進

公益財団法人としての高い社会的信用を維持し公益目的事業を行うために、組織体制の強化と財政運営に取り組んだ。

#### 2. 総務委員会企画部会の発足

新たに企画部会を発足し、未来構想や長期基本計画の策定、ソフトテニスの認知度向上に向けての施策などの検討を開始した。

#### 3. 各年代における登録人口の増加への取り組み

大学生対策プロジェクト、高校生対策プロジェクト、中学生対策プロジェクトをスタートさせ、合同会議やそれぞれのプロジェクトの会議を開催し、対象となる年代層の登録会員の減少に歯止めをかける対策について協議した。小学生の対策については生涯スポーツ委員会小学生部会が前述の3プロジェクトとの役割を担い活動を始めた。

#### 4. 環境と教育への取り組み

ソフトテニスを通じて環境教育と青少年健全育成に取り組んだ。

- ①大会や各種事業を実施する際にごみの分別や、マイボトルの推進を図るなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切にす生活習慣を徹底した。

また、日本オリンピック委員会（JOC）のポスターを会場やプログラム等への掲載を実施し、環境とマナーの向上を図った。

平成26年度に当連盟が作成した「環境宣言『来た時よりも美しく』・フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕を日本連盟主催の大会や研修事業等に掲げ、環境問題への取り組みの大切さとフェアプレイを訴えた。

- ②JOC等が開催する各種セミナーやフォーラムに参加し、環境問題や組織力向上のための研修を受けた。

- ・JOC スポーツ環境地域セミナー
- ・JOC 総務本部フォーラム

- ②スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年が自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育める取り組みを推進した。
- ・大会会場で「あくしゅ あいさつ ありがとう」の実践をすすめ、選手のお互いへの思いやりや、相手を尊敬する精神の育成を行った。
- ・「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動を継続推進した。
- ・「マナーBOOK」を通して、試合終了後の握手の励行、参加選手だけでなく応援者へのマナーの呼びかけなどを行った。大会プログラム等への掲載のため、「マナーBOOK」抜粋版を作成した。
- ・各大会で協力していただいたマナーチェックシートを集約し、今後の分析を進めることとした。

## 5. 会員登録制度の推進

財政基盤となる会員登録料はシステム活用により正確に収納された。

### ①会員登録制度の充実

- ・制度の周知徹底を行い、会員登録制度を推進した。

### ②会員登録手続きの効率化

- ・会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図った。
- ・会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行った。
- ・支部大会申込システムの活用を促進した。
- ・会員証及び会員報を各団体へ直接送付し、加盟団体関係者の事務負担の軽減を図った。
- ・会員登録料納付システムの活用による会費および大会参加料等の早期かつ正確な納付による円滑で正確な資金管理を行うことができた。

### ③会員報の発行

- ・年2回(9月、2月)会員報を発行して会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。

### ④登録状況の把握と改善

- ・加盟団体別及び階層別の登録状況を把握し、年度別登録人数の推移、特に中学3年生の登録状況を精査し今後の対策を協議した。
- ・会員登録有料化からの階層別会員登録推移の検証・分析をし、愛好者増加対策事業のデータベース作成方法の協議を進めた。

## 6. 暴力行為の根絶

- ・「公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り暴力の根絶の徹底を図っている。
- ・暴力行為の根絶のため、平成25年12月1日に制定した指導基本規程に基づき、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、違反救済申立処理委員会を各支部（各都道府県連盟、日本学連、全国高体連、日本中体連）に、違反救済審査委員会を日本連盟に平成26年4月1日より設置し、指導基本規程等諸規程に従った対応を図った。日本連盟において設置している「指導基本規程違反救済審査委員会」への相談については該当する事項は無かった。

## 7. 加盟団体会長会議の開催

- ・加盟団体会長会議を開催した。日本オリンピック委員会加盟団体会長会議の内容についての報告およびスポーツ界における暴力根絶をテーマに講演を行った。

期 日 平成31年2月2日(土) 15時

会 場 ホテルメルパルク大阪

参加数 加盟団体45名、日本連盟役員・委員27名、職員3名

内 容

- ・スポーツ界におけるインテグリティについて
- ・スポーツをとりまく環境について
- ・ガバナンスの構築について

講演：「アスリート尊厳の確立と、暴力、パワーハラスメントの追放と適切な指導者を育てるために」

講師：鈴木孝雄（日本ソフトテニス連盟顧問弁護士）

## 〔庶務事項〕

### 1. 評議員会に関する事項

#### (1) 定時評議員会

- ア. 期 日 平成 30 年 6 月 10 日 (日) 正午 開会  
イ. 会 場 アワーズイン阪急 ツイン館 4 階「第 1・第 2」会議室  
ウ. 決議事項
- ①平成 29 年度事業報告書 (案) および決算報告書 (案) について
  - ②ユニフォーム等の着用基準 (案) について
  - ③補欠評議員の選任について
  - ④役員を選任について

#### (2) 臨時評議員会 (第 1 回)

- ア. 期 日 平成 30 年 12 月 2 日 (日) 午前 9 時 30 分 開会  
イ. 会 場 ワタキューセイモア (株) 5 階研究室 A  
ウ. 決議事項
- ①補欠評議員の選任について
  - ②大会要項の改定 (案) について
  - ③平成 30 年度第 1 次補正予算 (案) について
  - ④平成 31 年度事業計画 (案) について
  - ⑤平成 31 年度収支予算 (案) について
  - ⑥平成 31 年度評議員会日程 (案) について

#### (3) 臨時評議員会 (第 2 回 ※書面審議)

- ア. 期 日 平成 31 年 3 月 28 日 (木)  
イ. 決議事項
- ①大会日程の変更について
  - ②2019 年度臨時評議員会の日程変更について

### 2. 理事会に関する事項

#### (1) 第 1 回理事会

- ア. 期 日 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 正午 開会  
イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室  
ウ. 議決事項
- ①平成 29 年度事業報告書 (案) および決算報告書 (案) について
  - ②第 18 回アジア競技大会日本代表選手の推薦基準について
  - ③第 18 回アジア競技大会日本代表候補選手について
  - ④ユニフォーム等の着用基準について
  - ⑤1 級審判員有効期限切れの対処について
  - ⑥全国審判員指導者研修会について
  - ⑦用具・用品の公認申請について
  - ⑧学識経験理事および監事について

#### エ. 審議事項

- ①新規全日本大会について

- i 全日本団体王座選手権の新設
- ii 全日本ミックスダブルス選手権の新設

- ②実業団大会の参加資格について
- ③旅費支給規程の改訂（案）について
- ④大会役員派遣規程（案）について
- ⑤マナーBOOKの抜粋版について
- ⑥会員登録制度の個人分類の変更について

(2) 第2回理事会

ア. 期 日 平成30年6月9日（土）正午 開会  
イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室  
ウ. 議決事項

- ①平成30年度定時評議員会提案事項の確認について
- ②全日本クラブソフトテニス選手権大会の開催時期の変更について
- ③ユニフォーム等の着用基準について
- ④実業団大会の参加資格について

エ. 審議事項

- ①マナーBOOKの抜粋について

(3) 第3回理事会

ア. 期 日 平成29年6月10日（日）15時45分（評議員会終了後）開会  
イ. 会 場 アワーズイン阪急 ツイン館会議室  
ウ. 議決事項

- ①会長・副会長・専務理事・常務理事の選任について

(4) 第4回理事会

ア. 期 日 平成30年7月7日（土）正午 開会  
イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室  
ウ. 議決事項

- ①顧問、参与の推薦について
- ②専門委員会規程の改訂（案）について
- ③専門委員会構成について
- ④旅費規程の改訂（案）について
- ⑤大会役員派遣規程の改訂（案）について

エ. 審議事項

- ①団体王座決定戦及びミックスダブルス大会に対する対応について

(5) 第5回理事会

ア. 期 日 平成30年9月29日（土）正午 開会  
イ. 会 場 ワタキューセイモア（株）5階研修室  
ウ. 議決事項

- ①大会要項改訂について
- ②新規全日本大会について
- ③技術等級制度規程について



- ④1級審判員有効期限切れの対応について
- ⑤1級審判員資格失効者の検定会参加について
- ⑥オンデマンドによる大会映像放映について
- ⑦用具・用品の公認について

エ. 審議事項

- ①業務執行状況の報告について
- ②平成31年度/2019年度事業計画案・予算案作成について
- ③平成30年度支部功労者・優良団体推薦手続きについて
- ④平成30年度全国広報担当者会議について
- ⑤全日本選手権大会放映について
- ⑥平成30年度1級審判員検定会・研修会について
- ⑦専門委員会委員の追加等について
- ⑧第18回アジア競技大会について
- ⑨コリアカップ選手派遣について
- ⑩第3回世界ジュニア選手権大会選手派遣について
- ⑪平成30年度日本連盟表彰式及び第18回アジア競技大会入賞者表彰・祝勝会について

(6) 第6回理事会

ア. 期 日 平成30年11月3日(土) 正午 開会

イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議決事項

- ①事務局修繕積立金の開始について
- ②平成30年度第1次補正予算(案)について
- ③平成31年度事業計画(案)について
- ④平成31年度収支予算(案)について
- ⑤第16回世界選手権大会日本代表選手予選会の参加資格について
- ⑥表彰規程の改訂(案)について
- ⑦日本スポーツマスターズ2018中止に伴う取り扱いについて
- ⑧平成30年度表彰について
- ⑨第68回日本スポーツ賞について
- ⑩大会組み合わせの事前公開について
- ⑪加盟団体会長会議の開催について
- ⑫(公財)日本スポーツ協会理事および評議員の推薦について

エ. 審議事項

- ①平成31年度理事会および評議員会日程(案)について

(7) 第7回理事会

ア. 期 日 平成30年12月1日(土) 正午 開会

イ. 会 場 ワタキューセイモア(株)4階会議室

ウ. 議決事項

- ①平成31年強化チーム(案)について

②大会要項の改訂（案）について

③臨時評議員会提案事項について

(8) 第8回理事会

ア. 期 日 平成31年2月23日（土）正午 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議決事項

①新規公認および公認辞退について

②ソフトテニス用具・用品およびコート施設に関する公認規程の改訂について

③特定資産の運用について

④専門委員会・部会委員の変更および追加について

⑤用具・用品の公認について

⑥第16回世界選手権大会日本代表選手選考について

エ. 審議事項

①日本連盟主催大会の基本日程の提示について

②日本リーグ入替戦の日程変更について

③2020年度日本連盟主催大会スケジュールについて

④日本連盟主催大会における応援方法について

⑤ミックスダブルス選手権大会について

⑥「ユニフォーム等の着用基準について」の改訂について

⑦ゼッケンの取扱いについて

(8) 第9回理事会（書面審議）

ア. 期 日 平成31年3月18日（月）

イ. 議決事項

①大会日程の変更について

②2019年度臨時評議員会の日程変更について

3. 業務執行に関する事項

(1) 業務執行会議

① 第1回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年5月22日（火）12時 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

・業務執行状況報告

・第1回理事会議題等について

・その他

② 第2回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年6月8日（金）14時 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

・業務執行状況報告

- ・第2回理事会および定時評議員会について

- ・その他

### ③ 第3回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年6月30日(土) 12時 開会

イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・今後の業務執行会議について
- ・専門委員会構成について
- ・大会派遣役員について
- ・旅費規程改訂案について
- ・役員派遣規程について
- ・団体王座決定戦およびミックスタブルス大会について
- ・2019年度大会日程ならびに開催地について
- ・2020年度大会日程について
- ・その他

## (2) 代表理事・業務執行理事会議

### ① 第1回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年9月29日(土) 9時30分 開会

イ. 会 場 ワタキューセイモア(株) 4階会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第5回理事会の議題について
- ・その他

### ② 第2回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年11月2日(金) 14時 開会

イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第6回理事会の議題について
- ・その他

### ③ 第3回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年11月30日(土) 13時 開会

イ. 会 場 ワタキューセイモア(株) 2階会議室C

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第7回理事会の議題について
- ・臨時評議員会の議題について
- ・その他

④第4回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成31年2月22日(金)12時30分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第7回理事会について
- ・臨時評議員会について
- ・その他

(3) 業務執行理事会議

①第1回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年6月24日(日)12時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・業務執行理事会議および代表理事会議について
- ・名誉会長等選出について
- ・(公財)日本ソフトテニス連盟組織について
- ・委員会構成について
- ・事務局への指示について
- ・その他

②第2回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年7月16日(月)11時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・専門委員会・部会の活動について
- ・団体王座決定戦、ミックスダブルス大会について
- ・2019年世界選手権予選会日程および会場について
- ・2019年世界ジュニア選手権大会派遣人数について
- ・アジア競技大会結団式について
- ・その他

③第3回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年8月12日(日)12時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・専門委員会・部会の活動について
- ・2019年度事業計画案作成について
- ・拠点化事業開催地理事長会議について
- ・日本リーグ関係者会議について

- ・2020年度主催事業等関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・オンデマンド映像放映について
- ・その他

③ 第4回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年9月8日(日)15時30分 開会

イ. 会 場 静岡県草薙運動公園庭球場会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第5回理事会議題について
- ・拠点化事業開催地理事長会議について
- ・日本リーグ関係者会議について
- ・2020年度主催事業等関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・2019年世界選手権日本代表選手選考基準について
- ・2019年国際大会について
- ・その他

⑤ 第5回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年10月13日(日)11時45分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第6回理事会議題について
- ・平成30年度表彰式および第18回アジア競技大会入賞者表彰・祝勝会について
- ・第18回アジア競技大会日本選手団報告会および解団式について
- ・拠点化事業について
- ・2020年度大会等に係わる日程調整について
- ・日本リーグ関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・2019年世界選手権日本代表選手選考基準について
- ・その他

⑥ 第6回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成31年1月26日(土)11時30分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・強化スタッフ選考について
- ・資産取得プロジェクト会議について
- ・第 回理事会の議題について
- ・海外開催大会および海外諸国との交流について

・その他

⑦業務執行理事および総務・競技・審判正副委員長合同会議

ア. 期 日 平成31年3月16日(土)12時 開会  
イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室  
ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・平成30年度事業評価について
- ・平成31年度事業推進について
- ・規程の改訂および新規規程作成について
- ・その他

4. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議を開催した。(P39)

(2) 役員選考委員会を開催した。

期日：平成30年5月26日(土)

会場：日本連盟会議室

(3) 監査等が、次のとおり実施された。

月	日	事業内容	会 場
5	14~16	公認会計士による会計監査	日本連盟会議室
5	16~17	監事による監査	日本連盟会議室
1	29	公認会計士による期中監査	日本連盟会議室

〈委員会・部会等 諸会議開催一覧〉

委員会・部会	開催日					
総務委員会	4/28	10/7				
企画部会	11/23	2/8	2/9			
会員登録制度部会	5/12	8/4	10/13			
IT部会	10/11	11/24				
審判委員会	4/29	10/13	3/30			
競技委員会	4/21	8/11	11/10			
プログラム編成部会	4/21	6/23	7/19	7/21	7/24	8/23
	8/24	9/6	9/19	9/24	2/24	
等級制度部会	11/11	1/24				
強化委員会	5/2	5/3	7/22	9/24	10/20	10/21
強化スタッフ部会	8/12					
指導委員会	10/27	1/14	3/17			
生涯スポーツ委員会	10/14					
小学生部会	10/14					
シニア部会	10/14					
国際委員会						
広報委員会	8/16	1/8				
機関誌編集部会	4/16	5/11	6/15	7/17	8/21	9/18
	10/22	11/21	12/17	1/18	2/14	3/18
医科学委員会	9/24					
医学部会	7/29	1/13				
アンチ・ドーピング部会	7/29					
トレーナー部会	9/24	1/27				
スポーツ科学部会						
競技者育成プログラム推進委員会	4/22	11/4				
マネージメント部会	4/22	2/3				
用具・用品・施設委員会	2/3					
環境・教育プロジェクト	5/13	10/28	3/21			
中学生対策プロジェクト						
高校生対策プロジェクト						
大学生対策プロジェクト	3/9					
資産取得プロジェクト	1/14					
小学生部会・中学生対策プロジェクト・高校生対策プロジェクト・大学生対策プロジェクト合同会議	11/10					
委員長・部会長 合同会議	2/2					

5. 役員・事務局職員に関する事項

(1) 名誉会長・名誉副会長・理事・監事・評議員

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

名誉会長・名誉副会長

役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	海部 俊樹	名誉副会長	表 孟宏

理事22名

役職	氏名	役職	氏名
会長	安道 光二	理事	川西 齋
副会長	小原 信幸		木原 晴彦
副会長	笠井 達夫		安藤 正美
副会長	本田 茂雄		白水 厚二
専務理事	野際 照章		金子 知行
常務理事	柳下 秋久		林 昭文
	丹崎 健一		林田 正信
	北本 英幸		山下 晴海
理事	川島 登		佐藤 健司
	石川 雅利		井上 光子
	篠邊 保		上山 親子

監事3名

井上 清一	萬 正一	山本 毅
-------	------	------

評議員50名

運上 琢論 (北海道)	新保 俊彦 (青森)	宮田 勤 (岩手)
松田 孝志 (宮城)	加藤 育広 (秋田)	柏倉 達雄 (山形)
小野間 幸一 (福島)	額賀 富雄 (茨城)	木所 一典 (栃木)
佐藤 栄一 (群馬)	中村 進 (埼玉)	堀越 浩 (千葉)
横山 隆二 (東京)	増田 大吾 (神奈川)	向山 淳 (山梨)
和歌浦 京子 (新潟)	原 雅幸 (長野)	高辻 則夫 (富山)
永井 茂樹 (石川)	川畑 茂 (福井)	落合 敏男 (静岡)
澤田 康彦 (愛知)	天野 晴夫 (三重)	安藤 清 (岐阜)
金井 豊 (滋賀)	増木 博一 (京都)	友谷 往弘 (大阪)
森田 賢二 (兵庫)	西森 卓也 (奈良)	花田 一弥 (和歌山)
安東 健司 (鳥取)	大地本 一到 (島根)	小野 尚彦 (岡山)
大前 秀樹 (広島)	弘中 基之 (山口)	岸本 正文 (徳島)
木下 恵司 (香川)	越智 朗 (愛媛)	横江 忠志 (高知)
湯田 純孝 (福岡)	公門 武敏 (佐賀)	馬場 信幸 (長崎)
岩下 敏和 (熊本)	福田 茂 (大分)	當瀬 純一 (宮崎)
山口 純生 (鹿児島)	宮城 正彦 (沖縄)	宮崎 正己 (日本学連)
落合 護 (高体連)	平野 富靖 (中体連)	



②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

名誉会長・名誉副会長

役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	海部 俊樹	名誉副会長	表 孟宏

理事23名

役職	氏名	役職	氏名
会長	安道 光二	理事	川西 齋
副会長	笠井 達夫		木原 晴彦
副会長	津田 誠		越智 朗
副会長	星野 博		白水 厚二
専務理事	野際 照章		霊池 恵量
常務理事	安藤 正美		大房 裕司
	北本 英幸		山下 晴海
	丹崎 健一		佐藤 健司
理事	川島 登		井上 光子
	石川 雅利		上山 親子
	和歌浦 京子		神崎 公宏
	篠邊 保		

監事3名

井上 清一	鈴木 正彦	山本 毅
-------	-------	------

評議員50名

運上 琢論 (北海道)	新保 俊彦 (青森)	宮田 勤 (岩手)
松田 孝志 (宮城)	加藤 育広 (秋田)	柏倉 達雄 (山形)
小野間 幸一 (福島)	額賀 富雄 (茨城)	木所 一典 (栃木)
佐藤 栄一 (群馬)	中村 進 (埼玉)	堀越 浩 (千葉)
横山 隆二 (東京)	増田 大吾 (神奈川)	向山 淳 (山梨)
国島 孝志 (新潟)※	原 雅幸 (長野)	高辻 則夫 (富山)
永井 茂樹 (石川)	川畑 茂 (福井)	落合 敏男 (静岡)
澤田 康彦 (愛知)	天野 晴夫 (三重)	安藤 清 (岐阜)
金井 豊 (滋賀)	増木 博一 (京都)	友谷 往弘 (大阪)
森田 賢二 (兵庫)	西森 卓也 (奈良)	花田 一弥 (和歌山)
安東 健司 (鳥取)	大地 本一到 (島根)	小野 尚彦 (岡山)
大前 秀樹 (広島)	弘中 基之 (山口)	岸本 正文 (徳島)
木下 恵司 (香川)	越智 克昌 (愛媛)※	横江 忠志 (高知)
湯田 純孝 (福岡)	公門 武敏 (佐賀)	金子 正剛 (長崎)
岩下 敏和 (熊本)	福田 茂 (大分)	當瀬 純一 (宮崎)
辛島 康明 (鹿児島)	宮城 正彦 (沖縄)	宮崎 正己 (日本学連)
落合 護 (高体連)	平野 富靖 (中体連)	

※平成30年度臨時評議員会より

(2) 専門委員会・部会

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

総務委員会	委員長		副委員長 丹崎 健一(東京)		
	委員	川島 登(福島)	白水 厚二(大分)	金子知行(高体連)	運上 琢輪(北海道)
		北 正三(埼玉)	森田 賢二(兵庫)		
会員登録制度部会	部会長	川島 登(福島)			
	委員	井上 光子(千葉)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)	
		北 正三(埼玉)			
IT部会	部会長	北 正三(埼玉)			
	委員	天野 晴夫(三重)	君塚 亮一(神奈川)	増山 良夫(東京)	

審判委員会	委員長	林田 正信(熊本)	副委員長 上山 親子(大阪)		
	委員	川西 斎(奈良)	木原 晴彦(広島)	柳下 秋久(東京)	山下 晴海(埼玉)
		今井 史郎(東京)	小田 宗雄(熊本)	北 正三(埼玉)	木下 道夫(東京)
		君塚亮一(神奈川)	田村 忠士(広島)	笛岡 宣明(愛知)	牧 壮一(愛知)
		森 純(宮城)	渡辺はるみ(北海道)		

競技委員会	委員長	柳下 秋久(東京)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	篠邊 保(愛知)	佐藤 健司(東京)
		山下 晴海(埼玉)	今井 史郎(東京)	長岡 敏久(埼玉)	
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
	委員	井上 光子(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	石坂 欣也(東京)
		井上まゆ美(東京)	小笠原浩二(東京)	小俣 三男(埼玉)	織原真由美(東京)
		木谷 順三(千葉)	木所 一典(栃木)	木村 眞敏(埼玉)	高川恵美子(東京)
		高橋 道子(埼玉)	中野 吉広(東京)	成島 厚子(東京)	藤原 芳子(東京)
		増山 良夫(東京) (平成29年7月7日逝去)	山口 眞護(東京)		
等級制度部会	部会長	今井 史郎(東京)			
	委員	篠邊 保(愛知)	安達 和紀(鳥取)	大中 和彦(神奈川)	岡村 勝幸(山梨)
		木下 道夫(東京)	吉田 茂(福島)		

強化委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 小野寺 剛(東京)		
	委員	安藤 正美(香川)	篠邊 保(愛知)	井田 博史(東京)	神崎 公宏(三重)
		斉藤 広宣(千葉)	高川 経生(東京)	田中 弘(東京)	中堀 成生(広島)
		川村 達郎(千葉)			

指導委員会	委員長	篠邊 保(愛知)	副委員長 井田 博史(東京)		
	委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	安達 和紀(鳥取)	小野寺 剛(東京)
		小峯 秋二(富山)	高井 志保(大阪)	玉井俊充(和歌山)	百町 善明(京都)

生涯スポーツ委員会	委員長	石川 雅利(千葉)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	井上 光子(千葉)	上山 親子(大阪)	川西 斎 (奈良)	林 昭文(中体連)
		落合 護(高体連)	普天間富士子(沖縄)		
小学生部会	部会長	金岡 昭房(宮城)			
	委員	宇野 一行(愛媛)	小野 道康(新潟)	川並久美子(和歌山)	國枝 俊子(岐阜)
		小西 俊博(香川)	芝地 康幸(兵庫)	中村 正広(福岡)	畠山 洋二(広島)
廣島義春(北海道)	松口康彦(神奈川)				
シニア部会	部会長	川西 斎 (奈良)			
	委員	佐藤 健司(東京)	白水 厚二(大分)	鍵 茂 (宮城)	時任 宥幸(東京)
		保倉 謙治(埼玉)	山村 嘉一(千葉)	横野久美子(愛知)	

国際委員会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 木原 晴彦(広島)		
	委員	赤須 由佳(三重)	安達 和紀(鳥取)	蒲原 英敏(広島)	古賀 俊彦(京都)
		関川 丈彦(新潟)	玉木 進 (東京)	角田 光央(東京)	福崎 穰司(広島)
松井愛美(神奈川)	山口 正紀(広島)				

広報委員会	委員長	山下 晴海(埼玉)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	柳下 秋久(東京)	大野 勝敏(埼玉)
		玉木 進 (東京)	中山 俊介(東京)	萩原廣一(神奈川)	
機関誌編集部	部会長	井上 光子(千葉)			
	委員	石川 雅利(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	赤井 宏司(東京)
		近藤 貴予(東京)	鈴木 学 (埼玉)		

医科学委員会	委員長	山本 裕二(愛知)	副委員長 石川 雅利(千葉)		
	委員	川上 晃司(兵庫)	工藤 敏己(宮城)	永井 博典(東京)	藤島 淑子(東京)
	医学部会	部会長	永井 博典(東京)		
委員		川野 因(神奈川)	出家 正隆(愛知)	藤島 淑子(東京)	見附 祥子(広島)
		守重 昌彦(兵庫)	山田 隆 (東京)		
アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子(東京)			
	委員	丹崎 健一(東京)	井田 博史(東京)	上遠野 久美(福島)	玉木 進 (東京)
		見附 祥子(広島)	永井 博典(東京)		
トレーナー部会	部会長	川上 晃司(兵庫)			
	委員	高嶋 直美(東京)	永野 康治(東京)	見附 祥子(広島)	吉川友己奈(京都)
スポーツ科学部会	部会長	工藤 敏己(宮城)			
	委員	井田 博史(東京)	緒方 貴浩(東京)	楠堀 誠司(広島)	永野 康治(東京)
		福原和伸(神奈川)	水野 哲也(千葉)	村山 孝之(石川)	山本 裕二(愛知)

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	安道 光二(京都)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	小原 信幸(岡山)	本田 茂雄(宮城)	井上 光子(千葉)
		林 昭文(中体連)	柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)	

倫理委員会	委員長	小原 信幸(岡山)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	本田 茂雄(宮城)	柳下 秋久(東京)	

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	北本 英幸(石川)	木原 晴彦(広島)	篠邊 保 (愛知)	白水 厚二(大分)
		林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)	柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)
		井上 創 (兵庫)	小野寺 剛(東京)	神崎 公宏(三重)	宮崎正己(日本学連)
競技者育成部会	部会長	北本 英幸(石川)			
	委員	安達 和紀(鳥取)	池田 征弘(京都)	小峯 秋二(富山)	斉藤 広宣(千葉)
		高井 志保(大阪)	田中 弘 (東京)	中津川澄男(宮城)	橋本 康徳(京都)
指導者育成部会	部会長	篠邊 保 (愛知)			
	委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	小野寺 剛(東京)	斉藤 広宣(千葉)
		高井 志保(大阪)	高橋 茂(東京)	田中 弘 (東京)	松口康徳(神奈川)
マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)			
	委員	天野 晴夫(三重)	岩下 敏和(熊本)	越智 克昌(愛媛)	千葉 英明(宮城)
		手嶋 信彦(広島)	増田大吾(神奈川)	溝淵俊二(和歌山)	山田 浩一(石川)

用具・用品・施設委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 柳下 秋久(東京)		
	委員	木原 晴彦(広島)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	浅川 陽介(東京)

国際振興プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 古賀 俊彦(京都)		
	委員	佐々木寿(北海道)	玉木 進 (東京)		

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)	副委員長 井上 光子(千葉)		
	委員	安藤 正美(香川)	木原 晴彦(広島)	林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)
		柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)	岡村 勝幸(山梨)	金岡 昭房(宮城)
		林研一(日本学連)			

東京オリンピック 対策プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	内田 裕行(東京)	岡村 勝幸(山梨)	小峯 秋二(富山)	玉木 進 (東京)
		柳澤 昌彦(東京)	横山 隆二(東京)		

②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

総務委員会	委員長	石川 雅利(千葉)	副委員長 木原 晴彦(広島)		
	委員	浅川 陽介(東京)	安藤 正美(香川)	大地本一到(島根)	北本 英幸(石川)
		丹崎 健一(東京)			
企画部会	部会長	加藤 育広(秋田)	副部会長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	石川 雅利(千葉)	運上 琢論(北海道)	榎並 紳吉(東京)	香川 翔(香川)
		篠原 秀典(東京)	清水 論(茨城)	永井 茂樹(石川)	星 祥子(東京)
		松田 恵示(東京)	脇田 愛(神奈川)		
会員登録制度部会	部会長	越智 朗(愛媛)	副部会長 森田 賢二(兵庫)		
	委員	井上 光子(千葉)	宮田 勤(岩手)		
IT部会	部会長	天野 晴夫(三重)	副部会長 和歌浦 京子(新潟)		
	委員	小野 尚彦(岡山)	木下 恵司(香川)		

審判委員会	委員長	木原 晴彦(広島)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	小田 宗雄(熊本)	越智 朗(愛媛)	川島 裕和(石川)	田村 忠士(広島)
		牧 壮一(愛知)	増木 博一(京都)	森 純(宮城)	

競技委員会	委員長	安藤 正美(香川)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	岩下 敏和(熊本)	成田 扶美代(大阪)	吉田 茂(福島)	
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)	副部会長 佐藤 健司(東京)		
	委員	安達 和紀(鳥取)	石坂 欣也(東京)	井上まゆ美(東京)	上山 親子(大阪)
		小笠原浩二(東京)	越智 朗(愛媛)	小野 道康(新潟)	小俣 三男(埼玉)
		織原真由美(東京)	川口さつき(東京)	木所 一典(栃木)	黒瀬 麗子(静岡)
		芝地 康幸(兵庫)	東海林 裕晴(秋田)	中野 吉広(東京)	成島 厚子(東京)
		西木 宏(徳島)	藤原 芳子(東京)	山口 眞護(東京)	
等級制度部会	部会長	岡村 勝幸(山梨)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	荒井 隆(香川)	上山 親子(大阪)	佐藤 栄一(群馬)	

強化委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 神崎 公宏(三重)		
	委員	小野寺 剛(東京)	川上 晃司(兵庫)	篠邊 保(愛知)	田中 弘(東京)
強化スタッフ部会	部会長	神崎 公宏(三重)	副委員長 北本 英幸(石川)		
	委員	伊加 英隆(香川)	池田 征弘(京都)	斉藤 広宣(千葉)	高井 志保(大阪)
		田中 弘(東京)	中堀 成生(広島)	橋本 康徳(京都)	堀 晃大(広島)

指導委員会	委員長	篠邊 保(愛知)	副委員長 井田 博史(東京)		
	委員	浅川 陽介(東京)	安達 和紀(鳥取)	小野寺 剛(東京)	北本 英幸(石川)
		高井 志保(大阪)	玉井俊充(和歌山)	松元 誠二(福岡)	

生涯スポーツ委員会	委員長	川西 齊(奈良)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	川島 登(福島)	椎名 颯子(愛媛)	普天間富士子(沖縄)	
小学生部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)	副部会長 和歌浦 京子(新潟)		
	委員	宇野 一行(愛媛)	友谷 往弘(大阪)	畠山 洋二(広島)	花園 安紀(東京)
		廣島義清(北海道)	渡瀬 義正(静岡)	中村 正広(福岡)	
シニア部会	部会長	白水 厚二(大分)	副部会長 石川 雅利(千葉)		
	委員	鍵 茂(宮城)	横野久美子(愛知)		

国際委員会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 角田 光央(東京)		
	委員	赤須 由佳(三重)	蒲原 英敏(広島)	木原 晴彦(広島)	関川 文彦(新潟)
		玉木 進(東京)	藤島 淑子(神奈川)	松井愛美(神奈川)	

広報委員会	委員長	山下 晴海(埼玉)	副委員長 皆呂 充亮(東京)		
	委員	上山 親子(大阪)	大野 勝敏(埼玉)	工藤 聡子(青森)	佐藤 成敏(岩手)
		田中 和雄(広島)	萩原廣一(神奈川)		
機関誌編集部会	部会長	井上 光子(千葉)	副部会長 赤井 宏司(東京)		
	委員	白田 弘(千葉)	鬼束 二三江(神奈川)	近藤 貴予(東京)	

医科学委員会	委員長	山本 裕二(愛知)	副委員長 川西 斎(奈良)		
	委員	川上 晃司(兵庫)	工藤 敏巳(宮城)	藤島 淑子(神奈川)	守重 昌彦(東京)
医学部会	部会長	守重 昌彦(東京)	副部会長 丹崎 健一(東京)		
	委員	今井 愛(神奈川)	梶山 祥子(広島)	川野 因(神奈川)	出家 正隆(愛知)
		永井 博典(東京)	藤島 淑子(神奈川)	藤本 陽(静岡)	目加田 優子(東京)
	山田 隆(東京)				
アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子(神奈川)	副部会長 井上 光子(千葉)		
	委員	井田 博史(東京)	梶山 祥子(広島)	上遠野 久美(福島)	玉木 進(東京)
		永井 博典(東京)	守重 昌彦(東京)		
トレーナー部会	部会長	川上 晃司(兵庫)	副部会長 川西 斎(奈良)		
	委員	東 知宏(北海道)	梶山 祥子(広島)	兼平 智孝(宮城)	工藤 梨乃(兵庫)
		桑原 亜香音(神奈川)	小亀 裕美(兵庫)	阪根 ちひろ(京都)	高川 亜紀(広島)
		田中 京介(熊本)	中野 道治(大阪)	永野 康治(東京)	深間内 誠(三重)
	吉川友己奈(京都)				
スポーツ科学部会	部会長	工藤 敏巳(宮城)	副部会長 川島 登(福島)		
	委員	井田 博史(東京)	緒方 貴浩(東京)	川上 晃司(兵庫)	篠原 秀典(東京)
		永野 康治(東京)	福原和伸(神奈川)	水野 哲也(千葉)	村山 孝之(石川)
	山本 裕二(愛知)				

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	安道 光二(京都)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	津田 誠(愛知)	星野 博(東京)	安藤 正美(香川)

倫理委員会	委員長	笠井達夫(神奈川)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	星野 博(東京)	津田 誠(愛知)	石川 雅利(千葉)	安藤 正美(香川)

指導基本規程違反 救済審査委員会	委員長	鈴木 孝雄(神奈川)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	金子 知行(千葉)	林 昭文(東京)	大槻 麗(福島)	

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 篠邊 保(愛知)		
	委員	安達 和紀(鳥取)	井上 創(兵庫)	井上 光子(千葉)	大房 裕司(中体連)
		北本 英幸(石川)	木下 恵司(香川)	小林 幸司(東京)	白幡 光(山形)
	霊池 恵量(高体連)	林 三千夫(和歌山)	淵野 ひかる(佐賀)	松浦 誠(宮崎)	
マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)	副部会長 越智 朗 (愛媛)		
	委員	天野 晴夫(三重)	岩下 敏和(熊本)	岡村 勝幸(山梨)	越智 克昌(愛媛)
		千葉 英明(宮城)	手嶋 信彦(広島)	溝淵俊二(和歌山)	山田 浩一(石川)

用具・用品・施設委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	運上 琢諭(北海道)	神崎 公宏(三重)	木原 晴彦(広島)	重平 静洋(大阪)

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)	副委員長 丹崎 健一(東京)		
	委員	岡村 勝幸(山梨)	白水 厚二(大分)	新保 俊彦(青森)	林 研一(熊本)
		和歌浦京子(新潟)			

中学生対策プロジェクト	委員長	大房 裕司(中体連)	副委員長 篠邊 保(愛知)		
	委員	安藤 正視(東京)	岸本 正文(徳島)	高橋 茂(東京)	霊池 恵量(高体連)
		山下 晴海(埼玉)			

高校生対策プロジェクト	委員長	霊池 恵量(高体連)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	上山 親子(大阪)	大槻 範和(長崎)	大房 裕司(中体連)	川西 斎(奈良)
		土居 大語(高知)	根本 光泰(宮城)		

大学生対策プロジェクト	委員長	神崎 公宏(三重)	副委員長 宮崎 正己(学連)		
	委員	北本 英幸(石川)	佐藤 健司(東京)	佐藤 順一(学連)	田中 克彦(学連)

資産取得プロジェクト	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 神崎 公宏(三重)		
	委員	安藤 正美(香川)	加藤 育広(秋田)	斉藤 広宣(千葉)	當瀬 純一(宮崎)

3) 顧問・参与・事務局職員等

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

顧問

松田 謙治	内田 昌一	北村 和久	西村 信寛
-------	-------	-------	-------

参与

重田 衛	柳田 昌作	水野 明人	米山 勉	木村 純之
高松 政男	中山 昌作	伊野 二彦	内藤 享佑	吉田 敏彦
星野 博	西田 豊明	宮下 恭子	斉藤 元三	吉田 博紀
神崎 公宏				

事務局職員

事務局長	荒木 朋子	平成29年8月1日～ (事務局次長：平成28年9月1日～平成29年7月31日) (職員：平成3年5月1日～ )
職員	大八木 洋子	平成13年4月1日～
	堀内 大	平成26年1月14日～
	渡辺 貴大	平成28年9月1日～
	上岡 大樹	平成29年7月1日～
	高田 義治	平成29年9月1日～

※顧問弁護士 鈴木 孝雄 氏  
 ※公認会計士 櫻井 資悦 氏  
 ※税理士 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)



②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

顧問

内田 昌一	北村 和久	小原 信幸	西村 信寛	本田 茂雄
-------	-------	-------	-------	-------

参与

重田 衛	柳田 昌作	水野 明人	米山 勉	木村 純之
伊野 二彦	斉藤 元三	高松 政男	内藤 享佑	中山 昌作
西田 豊明	宮下 恭子	柳下 秋久	吉田 敏彦	吉田 博紀
萬 正一				

事務局職員

事務局長	荒木 朋子	平成29年8月1日～ (事務局次長：平成28年9月1日～平成29年7月31日) (職員：平成3年5月1日～ )
職員	大八木 洋子	平成13年4月1日～
	堀内 大	平成26年1月14日～
	渡辺 貴大	平成28年9月1日～平成30年12月31日
	上岡 大樹	平成29年7月1日～
	高田 義治	平成29年9月1日～平成31年1月31日

※顧問弁護士 鈴木 孝雄 氏  
 ※公認会計士 櫻井 資悦 氏  
 ※税理士 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

6. 会員登録に関する事項

(1) 年度別会員登録人数

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,100	83,464	1,014	7,613	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508

(注) 都道府県別会員数は別表4(P60)に掲載。

7. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成30年度	11,543,000	45,458,000	9,360,000	126,550,000	41,732,000	507,000	3,806,500	238,955,500
平成29年度	11,278,000	46,143,000	9,784,000	134,003,500	42,588,000	534,500	3,938,000	248,269,000

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー26社：延50社（前年度50社） (単位：円)

種別	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
平成30年度	8社 800,000	3社 8,280,000	9社 900,000	5社 3,300,000	13社 15,080,000	12社 5,760,000
平成29年度	8社 800,000	3社 8,280,000	9社 900,000	5社 3,300,000	13社 14,790,000	12社 5,760,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 8社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライド・ティエムシー・ジャパーナ
ボール 3社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 9社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易
ストリング 5社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・住友ゴム工業・ミズノ
ユニフォーム 13社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・ゴールドウィン・ナイキジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・ディーエムアール
シューズ 12社	アシックスジャパン・ヨネックス・ナイキジャパン・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライド・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング

イ. 施設業者 7社：延べ 8社（前年度 8社） （単位：円）

種別	砂入り人工芝		人工クレーコート	
平成 30 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000
平成 29 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業者名
砂入り人工芝 製造業者 7社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート 製造業者 1社	大塚ターフテック

ウ. 一般 61件 計 790,000円 （前年度 69件 計 950,000円） （単位：円）

50,000	安道光二	京都						
30,000	笠井達夫	神奈川	稲門クラブ	東京	ゴーセン		ミズノ	
20,000	岩手県連盟		長野県連盟		三田倶楽部		スポーツインテリジェンス	
	ティエヌネット		ナガセケンコー					
10,000	本田茂雄	宮城	鍵 茂	宮城	金岡昭房	宮城	萬 正一	秋田
	川島 登	福島	高松政男	栃木	鈴木正彦	群馬	佐藤栄一	群馬
	長岡敏久	埼玉	山下晴海	埼玉	中村 進	埼玉	石川雅利	千葉
	井上光子	千葉	西村信寛	東京	柳下秋久	東京	丹崎健一	東京
	玉木 進	東京	佐藤健司	東京	小野寺剛	東京	井田博史	東京
	藤島淑子	神奈川	小野道康	新潟	永井茂樹	石川	鷲頭典利	静岡
	落合敏男	静岡	中村 修	愛知	斉藤元三	愛知	篠邊 保	愛知
	笛岡宣明	愛知	山本裕二	愛知	北村和久	三重	天野晴夫	三重
	神崎公宏	三重	山本 毅	京都	宮下恭子	大阪	上山親子	大阪
	川西 斎	奈良	小野尚彦	岡山	今井誠則	広島	木原晴彦	広島
	大前秀樹	広島	蒲原英敏	広島	安藤正美	香川	香川 翔	香川
	中村正広	福岡	林 研一	熊本	白水厚二	大分	宮崎正己	日本学連
霊池恵量	高体連	落合 護	高体連					

8. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 補助金 合計額 11,517,000 円 (前年度 14,630,000 円) (単位：円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	11,517,000
-----------------	--------	------------

(2) 助成金 合計額 62,895,860 円 (前年度 61,794,160 円) (単位：円)

(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	2,801,000
	競技会開催(JOCジュニアオリンピックカップ/全日本ジュニア選手権大会)	1,009,000
	指導者研修会	1,313,000
	小計	5,123,000
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1~Step-3)	51,667,000
	ドーピング検査	3,558,000
	小計	55,225,000
福井しあわせ元気国体実行委員会	国民体育大会役員旅費	783,860
(公財)ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金	440,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	1,000,000

(3) 交付金 合計額 11,435,600 円 (前年度 10,161,360 円) (単位：円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	10,964,000
	JOCジュニア選手強化交付金	200,000
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	213,600
	スポーツ指導者育成交付金	58,000

(4) 委託金 合計額 754,881 円 (前年度 1,195,540 円) (単位：円)

(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金	133,240
	公認コーチ養成講習会委託金	621,641

9. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 協賛金 合計額 39,750,000 円 (前年度 34,800,000 円) (単位：円)

ミズノ(株)「ユニフォームオフィシャルサプライヤー協賛金」	23,000,000
ミズノ(株)「国際振興協賛金」	3,000,000
ミズノ(株)「全日本インドア選手権大会協賛金」	250,000
(株)ゴーセン「ストリングオフィシャルサプライヤー協賛金」	7,500,000
ナガセケンコー(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000
昭和ホールディングス(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000
住友ゴム工業(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000

10. 傷害補償制度の給付金に関する事項

34 件、1,221,000 円を給付した。(前年度：30 件 978,0000 円)

(単位：件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靭帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
平成 30 年度	4	14	6	2	3	5	0	34
平成 29 年度	5	7	3	7	7	1	1	30

〈内訳〉

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	4						4
骨折	7			1	4	2	14
靭帯損傷	4	1		1			6
肉離れ	2						2
捻挫	1				2		3
その他	5						5
死亡							
計							34

# 大会一覧表

別表1

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
4	14・15	第18回 アジア競技大会日本代表選手予選会	男子シングルス	広島県広島市	22
			女子シングルス	広島広域公園テニスコート	20
			小計		42
5	19・20	第25回全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	青森県青森市	241
			女子シングルス	新青森県総合運動公園テニスコート	217
			小計		458
6	20・24	第47回ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市 円山庭球場	144
			女子ダブルス		144
			男子シングルス		64
			女子シングルス		64
			小計		416
	23・24	西日本シニア選手権大会	シニア男45	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 テニスコート	56
			シニア女45		42
			シニア男50		82
			シニア女50		54
			シニア男55		68
			シニア女55		74
			シニア男60		124
			シニア女60		106
			シニア男65		114
			シニア女65		96
			シニア男70		86
			シニア女70		46
			シニア男75		30
			シニア女75		34
シニア男80	22				
シニア女80	12				
小計		1,046			
7	14・15	第73回東日本選手権大会 (一般・35・45)	一般男子	茨城県神栖市 神栖市海浜運動公園 茨城県北茨城市 磯原地区公園	648
			一般女子		258
			男子35		158
			女子35		48
			男子45		104
			女子45		62
	小計		1,278		
	21・22	第73回東日本選手権大会 (シニア)	シニア男50	栃木県宇都宮市 栃木県総合運動公園 栃木県栃木市 栃木市総合運動公園	120
			シニア女50		98
			シニア男55		98
			シニア女55		86
シニア男60			138		
シニア女60			128		
シニア男65			144		
シニア女65			108		
シニア男70			104		
シニア女70			108		
シニア男75	66				
シニア女75	44				
シニア男80	28				
シニア女80	24				
小計		1,294			

7	21・22	第72回西日本選手権大会	一般男子	大分県大分市 大分スポーツ公園だいぎんテニスコート	398
			一般女子		212
			男子35		102
			女子35		20
	小計				732
	26～29	第35回全日本小学生選手権大会	男子団体	愛媛県今治市	752
			女子団体	今治市営スポーツパークテニスコート	752
			男子ダブルス	今治市営桜井スポーツランドテニスコート	752
女子ダブルス				752	
小計				3,008	
8	30～6	全日本高校選手権大会	男子個人	三重県鈴鹿市 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿庭球	636
			男子団体		384
			女子個人		636
			女子団体		384
	小計				1,020
	1～3	第45回全日本レディース(個人戦)	ふじ(初心者)	和歌山県和歌山市 つつじが丘テニスコート 紀三井寺公園庭球場 和歌山ビッグホエール・ビッグウェーブ 白浜町テニスコート	62
			すみれ(満20歳以上)		36
			ばら(40歳以上)		112
			ゆり(50歳以上)		126
			きく(55歳以上)		142
			あやめ(60歳以上)		296
			はぎ(65歳以上)		268
さつき(70歳以上)			236		
さくら(75歳以上)			152		
もも(80歳以上)			84		
小計				1,514	
3～5	男子第63回・女子第62回 全日本実業団選手権大会	男子団体	茨城県北茨城市・日立市	990	
		女子団体	北茨城 市民体育館	114	
小計				1,104	
6～11	全日本学生選手権大会 第72回文部科学大臣杯(大学対抗) 第73回三笠宮賜杯(ダブルス) 第60回全日本学生シングルス選手権大会	男子大学対抗	岡山県岡山市	510	
		女子大学対抗	浦安総合公園テニスコート	384	
		男子ダブルス	岡山県総合グラウンド南テニスコート	1,086	
		女子ダブルス	岡山県備前市	736	
		男子シングルス	備前テニスセンター	130	
		女子シングルス		117	
小計				2,963	
17～19	第40回全日本レディース決勝大会 (都道府県対抗団体戦)	都道府県対抗	宮城県仙台市 泉庭球場、シエルコムせんだい	480	
21・23	第49回全国中学校大会	男子個人	広島県尾道市 広島県立びんご運動公園	128	
		女子個人		128	
		男子団体		200	
		女子団体		200	
小計				656	
9	8・9	第46回 全日本社会人選手権大会	一般男子ダブルス	静岡県静岡市 他	612
			一般女子ダブルス	静岡県草薙総合運動上庭球場	228
			男子ダブルス35	静岡市有度山総合公園運動施設テニスコート	272
			女子ダブルス35	浜松市花川運動公園テニスコート	48
			男子ダブルス45		172
			女子ダブルス45		82
小計				1,414	

9	15・16	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第25回全日本ジュニア選手権大会	男子U-20	広島県広島市	31	
			女子U-20	広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)	29	
			男子U-17	広島市中央バレーボール場	27	
			女子U-17		31	
			男子U-14		24	
			女子U-14		24	
	小計				166	
	21～23	第22回 全日本シニア選手権大会	男子ダブルス50	佐賀県佐賀市 他	138	
			女子ダブルス50	佐賀県立森林公園テニスコート	114	
			男子ダブルス55	唐津市松浦河畔公園庭球場	138	
			女子ダブルス55	佐賀県総合運動場庭球場	100	
			男子ダブルス60		200	
			女子ダブルス60		160	
			男子ダブルス65		118	
			女子ダブルス65		118	
			男子ダブルス70		142	
			女子ダブルス70		78	
			男子ダブルス75		56	
			女子ダブルス75		26	
			男子ダブルス80		30	
			女子ダブルス80		32	
			混合 ダブルス50		70	
			混合 ダブルス55		74	
			混合 ダブルス60		126	
			混合 ダブルス65		132	
			混合 ダブルス70		68	
			小計			
10			6～11	第73回国民体育大会	少年男子	福井県福井市
	少年女子	わかばテニスコート			282	
	成年男子	福井県越前市			126	
	成年女子	武生中央公園庭球場			144	
	小計				648	
	19～21	第73回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	男子ダブルス	熊本県熊本市	340	
			女子ダブルス	熊本県民総合運動公園メインテニスコート	316	
	小計				656	
	26～28	第32回日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	235	
			女子団体	市民交流プラザふくちやま	41	
	小計				276	
	27～28	第25回 全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	1,292	
女子団体			千葉県白子町サニーテニスコート	325		
小計				1,617		
11	16～19	第13回ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)		42	
			女子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市	42	
			男子シングルス(U-17)	生目の杜運動公園テニスコート	41	
			女子シングルス(U-17)	久峰総合公園テニスコート	45	
			男子シングルス(U-20)		35	
			女子シングルス(U-20)		30	
			男子ダブルス(U-14)		42	
			女子ダブルス(U-14)		42	
			男子ダブルス(U-17)		42	
			女子ダブルス(U-17)		46	
			男子ダブルス(U-20)		32	
			女子ダブルス(U-20)		30	
			小計			



12	14～16	第36回 日本リーグ	男子団体	愛知県豊田市	63
			女子団体	スカイホール豊田 中会議室	55
			小計		118
2	3	第64回全日本インドア選手権大会	男子ダブルス	大阪府大阪市	24
			女子ダブルス	大阪市中央体育館	24
			小計		48
	9・10	日本リーグ入替戦	男子団体	愛知県名古屋	32
			女子団体	露橋スポーツセンター	25
			小計		57
3	26～28	第30回 都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市	768
			女子団体	三重県営サンアリーナ・レセプションルーム	768
			男子ダブルス		784
			女子ダブルス		768
			男子シングルス		768
			女子シングルス		768
			小計		4,624
	28～30	第44回全日本高等学校選抜大会	男子団体	愛知県名古屋市	576
			女子団体	日本ガイシスポーツプラザ	576
			小計		1,152
	29～31	第18回 全国小学生大会	男子6年生の部	千葉県白子町	89
			女子6年生の部	千葉県白子町サニーテニスコート	86
			男子5年生の部		340
			女子5年生の部		340
			男子4年生以下の部		342
			女子4年生以下の部		334
			小計		1,531

## 技術等級認定実績

別表2

平成31年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	3	0	14	0	11	31	23	0	82
2 青森県	0	0	0	0	2	0	0	16	40	23	81
3 岩手県	0	0	1	0	11	0	9	6	23	0	50
4 宮城県	0	0	0	0	10	1	2	15	30	0	58
5 秋田県	0	0	2	0	3	0	0	6	27	0	38
6 山形県	0	0	2	0	6	0	8	8	66	0	90
7 福島県	0	0	3	2	2	0	10	25	94	0	136
8 茨城県	0	0	2	0	5	0	5	73	28	6	119
9 栃木県	0	0	0	0	10	0	0	35	50	14	109
10 群馬県	0	0	0	1	15	0	10	39	44	133	242
11 埼玉県	0	0	2	2	8	2	34	84	93	56	281
12 千葉県	0	0	1	0	11	0	6	16	23	28	85
13 東京都	0	0	8	3	7	3	24	33	10	12	100
14 神奈川県	0	0	0	0	9	0	7	65	46	8	135
15 山梨県	0	0	0	0	2	0	6	35	41	69	153
16 新潟県	0	0	2	0	6	0	4	7	20	0	39
17 長野県	0	0	0	1	4	0	5	2	49	1,714	1,775
18 富山県	0	0	0	0	5	0	9	8	4	38	64
19 石川県	0	0	0	0	5	0	7	16	41	16	85
20 福井県	0	0	3	0	4	0	0	0	1	13	21
21 静岡県	0	0	3	1	3	3	5	10	42	0	67
22 愛知県	0	0	4	1	12	2	6	64	45	101	235
23 三重県	0	0	2	0	13	0	2	10	21	19	67
24 岐阜県	0	0	3	0	4	0	8	33	50	23	121
25 滋賀県	0	0	0	0	7	0	10	18	29	3	67
26 京都府	0	0	0	0	3	0	5	30	15	20	73
27 大阪府	0	0	3	1	10	2	2	77	18	4	117
28 兵庫県	0	0	2	0	3	0	18	72	19	19	133
29 奈良県	0	0	8	0	7	1	4	3	27	0	50
30 和歌山県	0	0	0	0	10	1	0	4	23	62	100
31 鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	3	1	19	23
32 島根県	0	0	0	0	8	0	6	1	1	22	38
33 岡山県	0	0	4	0	5	0	19	70	30	0	128
34 広島県	0	0	1	0	7	0	9	44	37	3	101
35 山口県	0	0	2	0	7	0	19	93	29	0	150
36 徳島県	0	0	1	0	1	0	12	15	27	0	56
37 香川県	0	0	4	0	12	0	3	8	4	17	48
38 愛媛県	0	0	0	2	3	0	2	10	20	50	87
39 高知県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	19	21
40 福岡県	0	0	2	0	3	0	1	14	31	3	54
41 佐賀県	0	0	0	0	1	0	2	0	30	0	33
42 長崎県	0	0	1	0	2	0	6	12	24	20	65
43 熊本県	0	0	0	0	10	0	3	68	261	321	663
44 大分県	0	0	0	0	5	0	1	2	17	17	42
45 宮崎県	0	0	0	0	14	0	0	24	76	0	114
46 鹿児島県	0	0	0	0	9	0	0	2	28	0	39
47 沖縄県	0	0	0	0	2	0	3	4	43	0	52
48 日本学連	0	0	22	0	64	0	43	36	0	1	166
合計	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653
前年度	0	0	67	11	346	15	361	1,335	1,640	3,186	6,961

## 公認審判員認定実績

別表3

平成31年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイ ヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般		高校			
						新規	更新	新規	移行		
1	北海道	2	4	3	3	128	203	188	699	2,200	3,430
2	青森県	0	0	3	7	45	158	16	57	211	497
3	岩手県	0	1	2	6	82	87	96	488	1,235	1,997
4	宮城県	0	0	2	5	59	352	120	453	1,506	2,497
5	秋田県	0	0	1	6	41	58	68	286	659	1,119
6	山形県	0	0	0	5	79	100	40	304	845	1,373
7	福島県	0	0	2	15	79	82	102	526	1,900	2,706
8	茨城県	0	0	3	9	59	727	95	109	303	1,305
9	栃木県	3	1	4	0	59	464	75	64	137	807
10	群馬県	0	3	3	2	53	348	72	108	343	932
11	埼玉県	1	3	4	10	272	823	388	708	3,294	5,503
12	千葉県	2	0	0	7	146	589	149	665	3,637	5,195
13	東京都	3	29	2	4	210	179	243	65	12	747
14	神奈川県	1	0	5	7	182	170	152	732	6,465	7,714
15	山梨県	0	0	1	0	67	259	57	44	51	479
16	新潟県	0	11	6	1	85	75	49	434	1,999	2,660
17	長野県	0	2	1	2	58	515	124	49	116	867
18	富山県	4	0	1	3	47	321	36	0	38	450
19	石川県	1	1	1	5	38	135	81	245	770	1,277
20	福井県	2	0	4	4	19	115	11	27	46	228
21	静岡県	0	10	4	4	113	124	159	463	3,657	4,534
22	愛知県	2	0	3	3	258	1,026	205	77	384	1,958
23	三重県	1	0	0	3	28	196	54	32	61	375
24	岐阜県	0	0	0	7	27	307	84	56	139	620
25	滋賀県	1	0	7	1	76	492	55	22	99	753
26	京都府	0	0	3	1	49	506	65	55	69	748
27	大阪府	0	0	8	6	93	245	186	29	43	610
28	兵庫県	0	0	2	4	194	60	155	7	50	472
29	奈良県	0	0	0	9	58	305	99	48	26	545
30	和歌山県	0	0	1	0	117	6	60	20	108	312
31	鳥取県	0	0	2	3	17	7	27	32	27	115
32	島根県	0	0	0	3	15	222	13	28	46	327
33	岡山県	4	14	4	6	57	779	60	74	83	1,081
34	広島県	0	0	3	1	42	995	211	60	83	1,395
35	山口県	1	1	0	3	47	456	102	83	125	818
36	徳島県	0	0	0	1	12	164	21	19	80	297
37	香川県	2	0	0	0	24	223	40	41	68	398
38	愛媛県	1	0	1	7	38	21	97	42	316	523
39	高知県	0	0	0	2	26	107	28	17	20	200
40	福岡県	2	1	2	0	80	403	103	104	370	1,065
41	佐賀県	2	3	1	0	34	25	55	236	900	1,256
42	長崎県	1	0	1	9	148	87	75	339	1,217	1,877
43	熊本県	0	0	4	2	45	96	45	393	1,310	1,895
44	大分県	1	2	0	2	75	210	55	118	1,135	1,598
45	宮崎県	0	0	2	3	50	306	84	53	116	614
46	鹿児島県	3	1	5	2	69	82	86	50	176	474
47	沖縄県	0	0	0	0	20	38	46	45	246	395
48	日本学連	0	0	0	0	553	0	604	0	0	1,157
合計		40	87	101	183	4,173	13,248	5,036	8,606	36,721	68,195
前年度		60	72	61	174	4,631	13,857	5,490	8,193	35,524	68,062

会員登録集計表（平成30年度）

別表4

平成31年3月31日現在

支部名	指導者 会員数	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	295	175	2,223	38	611	261	7,410	144	3,304	4	111	0	19	622	13,973
青森	286	50	486	17	240	95	3,116	44	919	1	5	1	0	208	5,052
岩手	361	60	1,075	30	434	125	3,554	68	1,799	1	35	0	8	284	7,266
宮城	138	89	1,003	23	486	175	5,252	77	2,571	2	34	3	115	369	9,599
秋田	250	38	486	17	438	74	2,072	38	912	1	21	0	5	168	4,184
山形	179	40	581	20	432	68	2,538	42	1,193	1	4	1	21	172	4,948
福島	443	77	651	32	630	151	5,656	68	1,700	1	35	0	2	329	9,117
茨城	495	72	879	23	605	209	9,064	82	2,279	1	3	0	4	387	13,329
栃木	40	35	749	18	465	116	4,101	50	1,284	0	23	0	23	219	6,685
群馬	228	46	880	23	740	148	5,668	47	1,179	0	0	0	7	264	8,702
埼玉	260	210	3,852	35	1,164	377	17,729	127	4,155	0	1	0	161	749	27,322
千葉	764	111	1,706	23	498	338	15,814	118	3,327	1	15	0	28	591	22,152
東京	173	139	3,040	23	377	188	5,120	177	4,706	1	7	0	108	528	13,531
神奈川	695	91	1,040	17	427	356	18,749	135	3,220	0	0	0	5	599	24,136
山梨	104	51	518	14	275	46	953	30	888	0	0	0	21	141	2,759
新潟	220	54	828	26	489	155	4,166	62	1,305	1	11	0	2	298	7,021
長野	164	37	1,304	16	346	120	3,864	66	1,589	1	22	0	3	240	7,292
富山	140	23	341	17	395	59	2,147	27	916	0	0	0	1	126	3,940
石川	44	50	641	22	388	65	3,076	37	1,068	1	1	1	41	176	5,259
福井	41	31	338	5	168	40	1,212	15	535	1	9	0	2	92	2,305
静岡	697	121	1,462	33	853	312	12,111	83	1,634	2	19	0	7	551	16,783
愛知	274	172	2,948	22	770	354	17,867	142	5,441	0	36	0	11	690	27,347
三重	132	54	601	14	296	142	5,647	49	1,364	1	16	0	27	260	8,083
岐阜	62	63	851	25	567	253	6,016	49	1,861	0	0	0	10	390	9,367
滋賀	113	30	499	14	359	78	955	38	1,357	0	0	0	5	160	3,288
京都	123	87	763	15	338	98	2,889	56	1,643	0	0	0	1	256	5,757
大阪	328	91	1,547	10	221	306	11,177	190	3,273	0	0	0	7	597	16,553
兵庫	266	83	1,433	22	393	302	15,128	145	4,960	2	38	0	1	554	22,219
奈良	126	30	814	9	148	62	2,510	29	925	0	0	0	1	130	4,524
和歌山	204	57	676	18	383	102	2,975	33	945	1	28	0	0	211	5,211
鳥取	73	34	391	11	164	38	998	23	595	1	14	0	0	107	2,235
島根	82	48	374	14	276	47	1,562	41	838	1	0	0	1	151	3,133
岡山	175	57	537	13	248	138	5,526	67	2,184	1	37	0	0	276	8,707
広島	309	127	1,330	16	271	151	5,305	97	2,806	2	39	0	76	393	10,136
山口	172	72	1,212	11	327	104	4,305	52	1,522	3	83	1	16	243	7,637
徳島	145	24	307	10	183	92	1,895	23	532	1	27	0	0	150	3,089
香川	42	28	383	10	243	51	2,258	29	757	2	14	0	1	120	3,698
愛媛	152	37	613	15	305	128	3,963	62	1,318	1	75	0	4	243	6,430
高知	63	27	352	10	136	30	918	21	482	1	3	0	13	89	1,967
福岡	613	76	1,054	16	325	198	6,886	139	2,698	4	76	1	45	434	11,697
佐賀	239	28	359	15	340	73	2,473	41	855	0	0	0	2	157	4,268
長崎	457	60	900	16	369	147	3,916	101	1,891	2	29	0	71	326	7,633
熊本	450	67	804	17	351	136	4,031	57	1,430	2	33	1	4	280	7,103
大分	209	57	547	14	262	100	2,180	29	726	0	13	0	51	200	3,988
宮崎	298	63	526	25	429	156	3,075	41	956	1	18	0	2	286	5,304
鹿児島	344	106	908	41	449	178	4,164	76	1,322	2	40	1	45	404	7,272
沖縄	71	43	640	11	106	48	1,108	28	300	1	16	1	30	132	2,271
日本学連	4	0	5	0	0	0	1	0	0	1	23	420	6,606	421	6,639
合計	11,543	3,221	45,457	886	18,720	6,990	253,100	3,195	83,464	50	1,014	431	7,613	14,773	420,911
昨年度	11,278	3,204	46,143	872	19,568	7,029	268,007	3,211	85,176	49	1,069	443	7,876	14,808	439,117